

# 公益社団法人日本地球惑星科学連合 平成 25 年度 第 3 回理事会

開催日時 平成 25 年 7 月 30 日（火）  
午後 14 時 00 分から午後 17 時 00 分

開催場所 東京大学理学部 1 号館 8 階 843 号室  
（東京都文京区本郷 7-3-1）



## 平成 25 年度第 3 回理事会次第

### 1. 開 会

### 2. 報 告 事 項

1. ジャーナル関連報告
2. 委員会報告
  - ・ 総務委員会
  - ・ 男女共同参画委員会

### 3. 審 議 事 項

- |          |                                      |
|----------|--------------------------------------|
| 第 1 号議案  | 会員（正会員）入会承認の件                        |
| 第 2 号議案  | 日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金設定の件             |
| 第 3 号議案  | 日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金取り扱い規定制定の件       |
| 第 4 号議案  | 基本財産積み増し検討の件                         |
| 第 5 号議案  | 連合大会システム改修の件                         |
| 第 6 号議案  | 連合大会の記念行事の開催の件                       |
| 第 7 号議案  | フェロー制度について                           |
| 第 8 号議案  | 科学研究費補助金における国内出張旅費規則および外国出張旅費規則の改定の件 |
| 第 9 号議案  | 選挙管理委員会メンバー選任の件                      |
| 第 10 号議案 | 選挙日程承認の件                             |
| 第 11 号議案 | 国際地理オリンピック支援の件                       |
| 第 12 号議案 | 事務局職員労働条件通知書の承認の件                    |
| 第 13 号議案 | 今後の国際戦略の件                            |
| 第 14 号議案 | 大型プロジェクト「日本版 NIH」に対する提言の件            |
| その他      |                                      |

### 4. 閉 会

(資 料)

報告事項

1.	ジャーナル関連報告 ジャーナル関連資料	P. 1
2.	委員会報告 平成 25 年度 共催・協賛・後援等一覧 「女子中高生夏の学校」準備状況 男女共同参画学協会連絡会関連(アンケート解析報告、シンポジウム)	P. 35 別紙 別紙

審議事項

1.	会員(正会員)入会承認の件 平成 25 年 6 月～平成 25 年 8 月度 入会会員	P. 36
2.	日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金設定の件 特定費用準備資金 資料	P. 38
3.	日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金取り扱い規定制定の件 大会記念事業開催資金取扱規則(案)	P. 40
4.	基本財産積み増し検討の件 第 2 期貸借対照表 正味財産増減計算書	P. 42 P. 43
5.	連合大会システム改修の件 連合大会システム改修について 連合大会システム改修見積書 特殊文字一覧	P. 45 P. 46 P. 48
6.	連合大会の記念行事の開催の件 連合大会(合同大会)開催実績一覧 記念行事参考資料	P. 51 P. 52
7.	フェロー制度について フェロー制度資料	P. 53
8.	科学研究費補助金における国内出張旅費規則および外国出張旅費規則 の改定の件 出張旅費規程 東大旅費規程 東大旅費支給要領	P. 57 P. 61 P. 63
9.	選挙管理委員会メンバー選任の件	P. 76
10.	選挙日程承認の件 選挙日程案	P. 77
11.	国際地理オリンピック支援の件 連合への支援希望資金金額とその根拠 平成 25 年度国際地理オリンピック京都大会当初予算 平成 25 年度国際地理オリンピック京都大会予算 Schedule of iGeo2013 Kyoto	P. 78 P. 79 P. 80 P. 81
12.	事務局職員労働条件通知書の承認の件	回覧資料
14.	大型プロジェクト「日本版 NIH」に対する提言の件	P. 82

その他の資料

	平成 25 年度第 2 回理事会議事録 規則集	P. 84 別冊
--	----------------------------	-------------

## 報告事項

1. 7月24日に7月10日に遡り、SPRINGERと正式に契約しました。
2. ジャーナルの宇宙惑星科学セクションの編集長が、倉本圭先生に決定しました。
3. 3回の編集長会議を開催して、SpringerのHPやシステム構成に必要な事項を決定しました。
4. 順調にシステムが構築できれば、ジャーナルの投稿受付は9月下旬になるかと思いますが、一応10月としておきます。
5. 原稿を依頼する先生（外国の研究者を含む）への「Progress in Earth and Planetary Science」の趣旨、投稿要綱、依頼の手紙などを7月26日に作製しました。
6. 現時点での編集委員会、ジャーナル企画経営委員会一覧（英語版）を資料に掲げます。JpGUが責任をもってこのプロジェクトを推進するということを表明するため、SPRINGERのジャーナルHPにSteering & Planning Committeeのメンバーも掲げます（Springerも了解済みです）。

ジャーナル担当：川幡穂高

ジャーナル資料1：ジャーナル委員会フレームワーク

ジャーナル資料2：改訂した実行予算

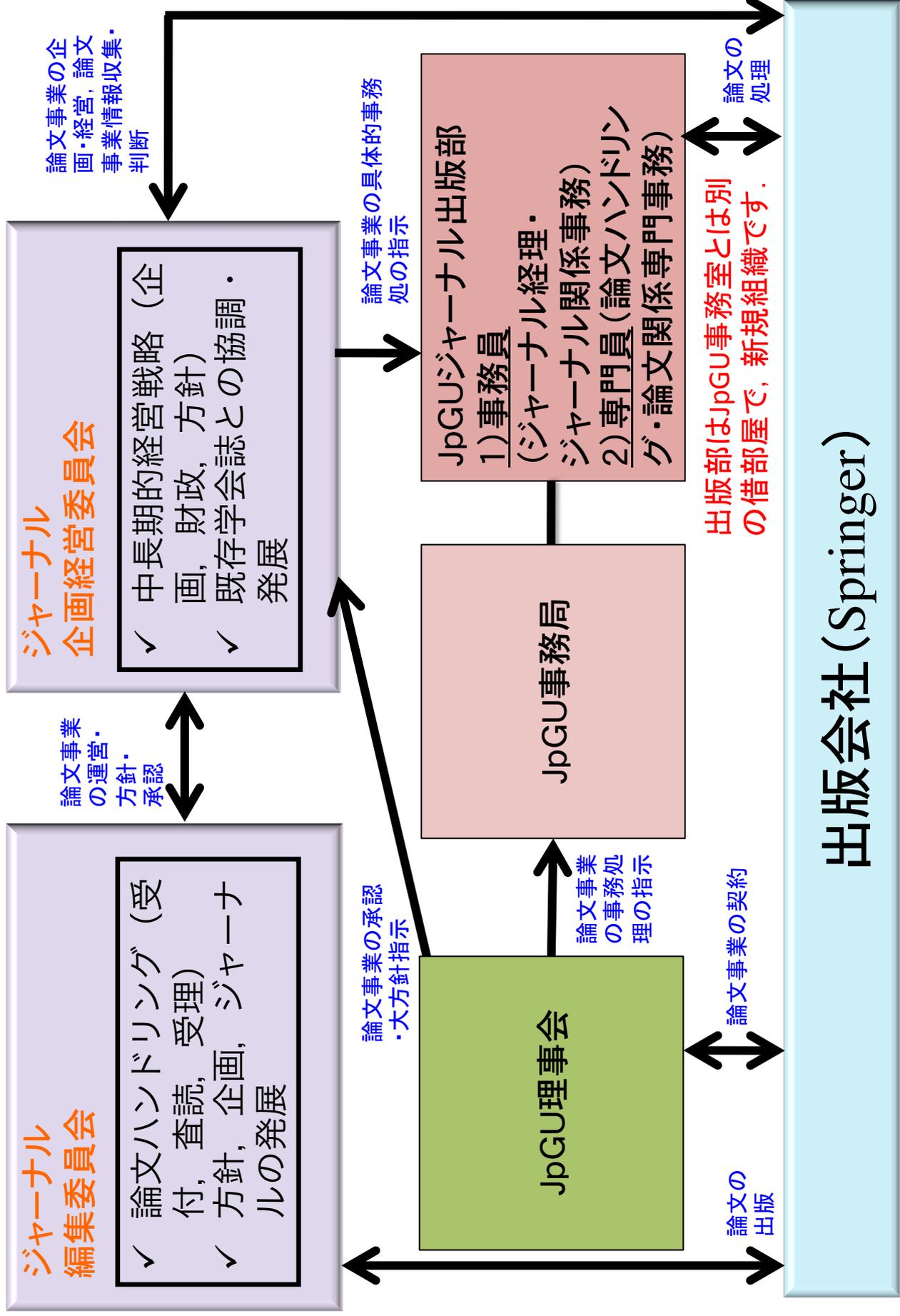
ジャーナル資料3：「Progress in Earth and Planetary Science」最終契約書

ジャーナル資料4：JGLジャーナル紹介（校正前の原稿なので、若干修正あり）

ジャーナル資料5：編集委員会、ジャーナル企画経営委員会一覧

ジャーナル資料6：編集長委員会状況

# 「Progress in Earth and Planetary Science」出版事業の組織概要



## ジャーナル企画経営拡大委員会(案)(開催年2回程度) (拡大=図中赤枠の範囲)

ジャーナル企画経営委員会(案)(随時開催)

(青枠範囲)

委員長(川幡穂高)

JpGU会長(津田敏隆)

3JpGU副会長(木村 学, 中村正人)

必要ならJpGUより一人(田近英一)

総編集委員長(井龍康文)

3編集長(小原一成, 佐藤正樹, 多田隆治)

1-2ジャーナルに詳しい関係者(小田啓邦)

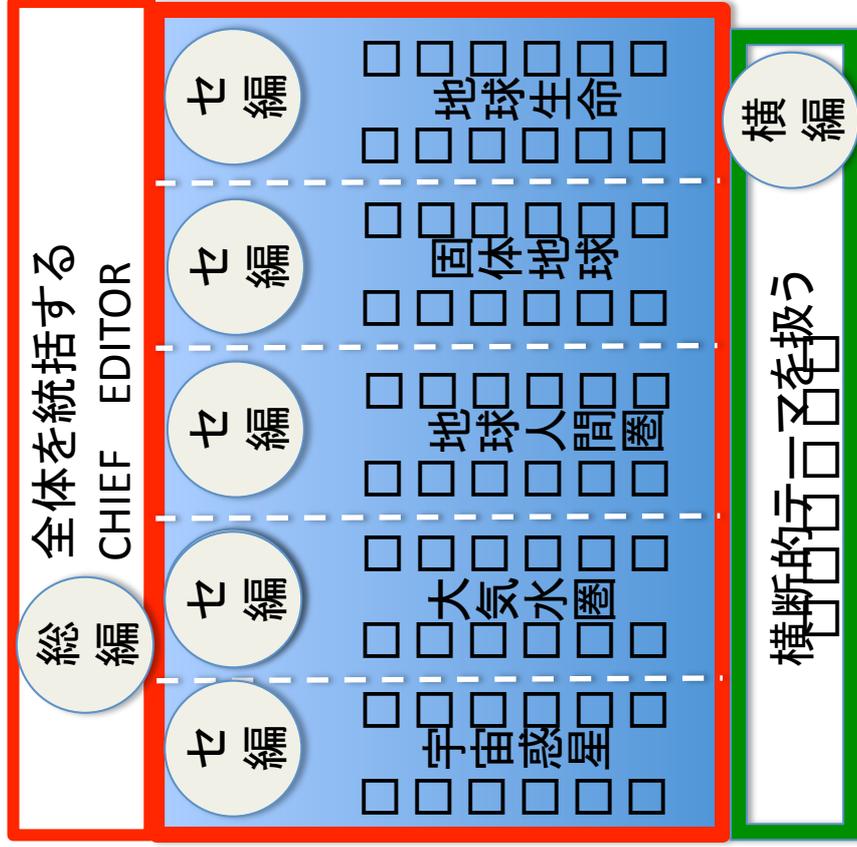
5人, JpGUセクションプレジデント

2JpGU参加学会でジャーナルに詳しい有識者(とりあえず)

2人, 外部有識者(林様, 他学会)

2012年7月から2年間(論文増えきたら構造改変)  
「Progress in Earth and Planetary Science」編集長

総合編集長  
(井龍康文)  
編集長  
小原一成(固体地球科学)  
倉本 圭(宇宙惑星科学)  
佐藤正樹(大気水圏科学)  
松本 淳(地球人間圏科学)  
川幡穂高(地球生命科学)  
多田隆治(横断)



総編

総編集長

セ編

セクション編集長

□

編集委員(約50名)

# 投稿料金(決定) ジャーナル企画経営拡大委員会で議論・決定

- 最初の2年間  
招待論文(著者負担0%, JpGU支援100%)  
Review論文(著者負担0%, JpGU支援100%)  
優秀論文(著者負担0%, JpGU支援100%)  
(セッション長の推薦必要)

- 最初の2年間  
会員一般投稿論文(著者負担20%, JpGU支援80%)  
非会員一般投稿論文(著者負担100%, JpGU支援0%)

ジャーナル資料2:改訂した実行予算

資料5(改訂)  
科学研究費補助金(研究成果公開促進費)

2013年7月4日改訂, 実行案

予算案

	交付申請書	現実的予算	趣旨	具体的内容
		¥31,400,000		
		¥3,900,000		
1	平成25年度所要経費(3140万円) 当該学術刊行物にかかる電子出版関連経費	¥31,400,000 ¥1,500,000	1) 当該学術刊行物に係る電子出版関連経費に関しては、2014年1-12月(ジャーナルの1年は通常カレンダー一年で、1月に始まる)については最初900ページを予定しており、	OA電子ジャーナルの経費として、Springer出版会社の見積もりでは1論文あたり約1000Euro(約13万円)となっています。現在、22論文の値段となっていますが、25論文を100%補助であると、10論文を20%補助とすると390万円となります。
2	当該学術刊行物の実務編集者の人件費	¥3,000,000	当該学術刊行物の実務編集者の人件費について、2種類あります。一人は経理担当、もう一人は専門職で、投稿された原稿を扱います。受付→査読(この課程で投稿者、編集者とのやりとり)→受理→刊行(受理されない原稿は刊行されない)となります。	日本学術振興会に問い合わせたところ、ジャーナル事務員と専門員経費は科学研究費補助金で支払うことができるとのことでした。事務員が116万円、専門員が184万円となります。(一応、¥1300くらいでご検討いただけたいかとのことでした。概算で、1日7hとして7月(週1日 月4日) 36,400、8月(前半週1日、後半週4日 月11日) 100,100、9~3月 月平均16日 145,600*7か月 1,019,200、合計 1,155,700 (残業代、交通費、福利厚生費別))
3	当該学術刊行物の編集委員の補助業務人件費	¥4,000,000	「海外情報発信強化」で負担が増加する分として、全体の総編集長と各セクション編集長分野別編集長(5分野、宇宙惑星科学、大気水圏科学、地球人間圏科学、固体地球科学、地球生命科学、十横断)に補助事務員(仕事量の応じて時間で配置)を雇用します。	全体の総編集長用事務員として年間70万円、分野別副編集長に補助事務員として年間30万円×6人すると250万円となります。
4	当該学術刊行物の実務関係の消耗品・借料費	¥2,000,000	当該学術刊行物の実務関係の「海外情報発信強化」する部分のみに使用します。事務所経費、通信費およびコンピュータの借料、消耗品費もこの項目に含まれます。	事務所に関係した経費として111万円となります(85000*13(9か月+税金4か月)=1,105,000)。通信費およびコンピュータの借料、消耗品費で、39万円を計上します。なお、通信設備の設置などに必要な工事費用については日本学術振興会の問い合わせたところ科学研究費補助金では支払うことができない、とのことでしたので、JbGU予算より支払います。
5	編集委員会開催に係る旅費・謝金・会議費	¥2,600,000	編集委員会は日本人および外国人から構成されます。編集委員会は、5分野(分野別編集長と編集委員)に分類できます。さらに全体を統括する編集長がJbGUジャーナルの最終責任者、代表編集長となります。編集委員会開催に係る経費のうち、日本人の編集委員の旅費・謝金・会議費について計上したのがこの項目です。	サイエンス・セクション(+横断)編集長に年間10万円、全体の編集長に年間50万円謝金を支払います。金額で110万円となります。
6	編集委員会開催に係る海外委員の旅費	¥2,600,000	編集委員会の中の構成員としては外国人の旅費などを扱うのがこの項目です。	「海外情報発信強化」として会議を開催します。編集長会議(旅費含む)20万円を2回で40万円となります。編集会議平均旅費3万円×10人*2(回)、会議費10*2(回)万円を計上すると120万円となります。
7	ジャーナル企画経営委員会開催に係る旅費・会議費	¥1,600,000	ジャーナル企画経営委員会開催の経費です。この委員会で、ジャーナルの中長期経営戦略(企画、財政、方針など)、既存学会誌との協調・発展を行います。	通常連合大会の前後の5月に開催予定ですが、本年は秋開催となります。「海外情報発信強化」として毎年5名程度の海外編集委員を招聘(50万円)する予定で250万円、事前会議経費として10万円を計上します。

8	当該学術刊行物の査読・審査に対する謝金等	¥1,000,000	¥800,000	本項目は国内査読者むけのもの、当該学術刊行物の査読に對する謝金等を実施する場合の経費です。JpGUに参加する学会でも国内誌の査読の作業に小額ではあるが謝金を支払う場合があります。一方、国際誌についてはほとんど前例がありません。査読期間の短縮、質の高い査読など、査読作業の質を向上させる点を検討する会議を開催し、理事会でも議論し決定されれば実行したいと考えます。一方、別の方法で査読作業の向上ができればいいか、改善策を模索することも重要と考えます。	「海外情報発信強化、査読システムの改良」として会議を開催します。基本的に編集長会議(旅費含む)が対応します。20万円×2回で40万円となります。謝金がベストな場合には、1論文あたり4,000円程度の謝金費用を予定しています。なお、査読の結果「棄却」された原稿であっても、その査読は「受理」の場合と同様の労力を伴うので、同額を支払います。一応、100本程度の査読として予算を計上します。
9	当該学術刊行物の欧文校閲費用	¥2,300,000	¥2,300,000	刊行物の「高品質な内容」とともに「高品質の英語」も商品として必須なので、欧文校閲を行うことは、本事業を実施する上でルーチンのプロセスとなります。投稿者が英語を母国語とならない国の方の場合、原則として自動的に英文校閲を行う予定です。	刷り上がり2ページで1万円の英文校閲費用として経費見積もりをしています。230ページで230万円を計上します。Referenceなどは英文校閲にしません。
10	特別セッション推進の加速経費	¥2,900,000	¥3,000,000	特別セッションと質の高い論文の投稿への取組み】海外情報発信への新規取り組みとして「複数の学会(分野)にまたがるようなトピックスを対象として特別国際セッションの企画」を募集・実行する予定です。セッションへの援助の義務は、「海外からの招聘者と日本側の代表格の方々(2013年度は約2-4名)は講演内容をJpGUジャーナルに論文として投稿」です。これにより有意義なセッションの開催と質の高い論文を集めることができます。	一軒 50万円程度で、6件として300万円を計上します。
11	情報発信・引用促進の加速費	¥2,900,000	¥2,900,000	海外情報発信強化・引用促進の加速経費としては、アピールサイトなどのメモリー容量、より効率的な運用ソフトの開発で290万円を計上します。	
12	広告・宣伝費	¥4,200,000	¥4,200,000	本事業は「日本の地球惑星科学を代表する組織」が新規にジャーナルを発信することなどで、海外に対して十分な広告・宣伝をする必要があり。この分野には、アメリカ合衆国を代表するAGU、ヨーロッパを代表するEGU、南アジアではAOGGSがあり、両者とJpGUは相互に地球惑星科学に関する協力協定を結んでいます。	2011年1月の創刊を前に、AOGS、AGUへの職員の覇権、AGU、EGUのニュースレターへ、本事業を大きく広告する予定であります。また、国内の学会に対しても、協力的な発展を促すために、宣伝・広告を行います。海外への発信経費として職員派遣として50万円×3(ヶ所)*1回、国内外学会のブース費用として25万円×6(ヶ所)、国内学会のブース展示などを通ずる経費として6x20万円を計上しています。
13	当該学術刊行物の実務関係の備品費	¥800,000	¥800,000		

# Publishing Agreement



This agreement is made as of this July 10, 2013 between

**Springer-Verlag GmbH Berlin Heidelberg**

Tiergartenstrasse 17  
69121 Heidelberg, Germany  
(hereinafter called "**the Publisher**")

and

**Japan Geoscience Union**

4F Gakkai Center Bldg., 2-4-16 Yayoi, Bunkyo-ku,  
Tokyo 113-0032, Japan  
(hereinafter called "**the Union**").

WHEREAS, the Union is the owner of an **Open Access Journal** entitled

Progress in Earth and Planetary Science (tentative title)  
(hereinafter called "**Journal**")

WHEREAS, the Publisher is an experienced publisher of professional journals.

WHEREAS, the Union desires that the Publisher serve as the publisher of the Journal and undertake related activities with respect to the Journal, each as set forth in this agreement, commencing in 2014.

NOW, THEREFORE, in consideration of the terms and conditions of this agreement, and other good and valuable consideration, the receipt and sufficiency of which are hereby acknowledged, the parties agree as follows:

## 1. Publication

In cooperation with the Union, the Publisher will commence to publish Journal as of the date of this Agreement and in accordance with the terms of this Agreement.

The Journal will be published Open Access. The Publisher will use its best practice to ensure the widest possible visibility and dissemination of the Journal.

## 2. Title and Designation of the Journal

During the term of this agreement, the Journal shall be designated as the official publication of the Union, as follows:

- a. The Journal's website and cover shall refer to the Union affiliation.

- b. The Publisher will appropriately acknowledge that the Journal is the official publication of the Union in major Journal promotional materials.

### **3. Open Access**

- a. The Union and the Publisher agree that all articles published in the Journal will be published as Open Access under the Creative Commons Attribution license.
- b. The Union and the Publisher agree that the Article-Processing Charge (APC) for the journal will be 1,000 Euro. Publisher shall ensure that the APC remains competitive with the charges of comparable publishers offering open access, and at a level that is regarded as reasonable by major funding agencies. If the authors are members of the Union, the Publisher will charge authors of accepted articles with 20% of that fee, whereas the Union will sponsor 80% of the amount (see clause 11).

### **4. Ownership of Intellectual Property**

- a. The Union shall own the Journal and all trademarks, and other proprietary rights in the Journal and all other names or symbols supplied by the Union to identify the Journal, except as provided in Subsection 4(c).
- b. The parties acknowledge that copyright in articles published in the Journal with Open Access shall be vested in the authors or original copyright holders (e.g. author's institution) of the articles published.
- c. Nothing in this agreement shall be construed to give the Union a claim to ownership of any intellectual property owned or provided by the Publisher or third parties and used in, or in conjunction with, the Journal.
- d. The Publisher will assign and register the Journal's articles digital object identifiers (DOI).

### **5. Rights Granted**

- a. Subject to the terms and conditions of this agreement, the Union hereby grants to the Publisher, for the term of this agreement, the non-exclusive license to use the name of the Union, the title of the Journal, and any trademarks, trade names or logotypes associated with them in connection with the exercise of any rights granted to the Publisher in this agreement and reasonably exercised in the pursuit of its rights as the publisher of the Journal
- b. Digital Preservation Entities: Parties agree that the Publisher is entitled to entrust digital preservation entities such as Portico ([www.portico.org](http://www.portico.org)) – or any other repository of similar nature or co-operating with other companies developing new forms of archiving later devised or perfected - to archive the content of the Journal published during the term of the Publishing Agreement.

### **6. Competing Works**

- a. The Union will not, during the term of this agreement, enter into new affiliations with other professional journals or trade magazines, or otherwise engage officially in the publication of any peer-reviewed, professional journal or magazine, that, in the Publisher's judgment, might directly conflict with or compete with the successful publication of the Journal.

- b. To the extent it is legally able to do so, during the term of this agreement, the Union shall not permit the Editor-in-Chief of the Journal to serve in a similar capacity for a journal of similar content or character published by any party other than the Publisher. The Publisher acknowledges, however, that the Editor-in-Chief of the Journal may serve on the Editorial Boards of other journals.

#### **7. Responsibilities of the Union**

- a. The Union shall exercise sole control of the editorial development and editorial content of the Journal, subject to the Publisher's then-current guidelines to contributors and its editorial standards and practices, and shall be responsible for maintaining a consistently high quality for all published contributions. The Publisher will notify the Union of any changes to its current guidelines.
- b. The Union shall appoint, and the Publisher shall confirm, the nomination of an Editor-in-Chief who shall be responsible for all day-to-day aspects of editorial development and shall exercise control over the material to appear in the Journal.
- c. Editor-in-Chief shall be responsible for supplying the Publisher with peer-reviewed and accepted manuscripts, including but not limited to, all illustrations, graphs, tables, charts and captions, all according to the publication schedule.
- d. All manuscripts must be submitted through the online system of the Publisher and the Editor-in-Chief is required to handle the submissions in a timely manner.
- e. Upon request, the Editor-in-Chief shall make available to the Publisher the records relating to all material, including without limitation referee and editorial communication.
- f. The Editor-in-Chief in collaboration with the Union shall select an Editorial Board that shall provide both international representation and diverse expertise. The Editorial Board shall assist the Editor-in-Chief as reasonably required to keep publication of the Journal on schedule, to maximize quality and to enhance the reputation and dissemination of the Journal. If requested by the Editor-in-Chief, the Publisher will advise on the selection of the Editorial Board.
- g. The Union agrees to use its best efforts to deal in a timely fashion with all queries received relating to the Journal and to assist the Publisher with the marketing and promotion of the Journal, and with securing sponsorship income, if appropriate.

#### **8. Responsibilities of the Publisher**

- a. The Publisher shall be responsible for publishing the Journal, including the entire cost of manufacturing, distribution, promotion and advertising.
- b. The Publisher shall provide the technical infrastructure to enable authors to submit their manuscripts online.
- c. The Publisher shall be responsible for setting and shall invoice an Article-Processing Charge (APC) for each article accepted by the Editor-in-Chief for publication in the Journal. The APC for the Journal is currently 1,000 Euro and may be varied by the Publisher, with the consent of the Union, from time to time. If the authors are members of the Union, the Publisher will charge authors of accepted articles with 20% of that fee, whereas the Union will sponsor 80% of the amount (see clause 11).

- d. The Publisher shall ensure that the APC remains competitive with the charges of comparable publishers offering open access, and at a level that is regarded as reasonable by major funding agencies.
- e. Authors who do not have sufficient funds to pay the APC may request a discretionary full or partial waiver. The Publisher shall be responsible for administering requests for APC waivers. The Publisher will endeavour to grant waivers in all cases of genuine lack of funds and to ensure that such lack of funds is not an obstacle to publication.
- f. In addition to author APC waiver requests, the Editor-in-Chief may in special cases recommend an article for a waiver, which is known as an invitation waiver. Such waivers will be granted at Publisher's discretion.
- g. The Journal will be published via Publisher's internet portal currently known as SpringerLink or any other electronic platform of the Publisher or its affiliates.

### 9. Annual Budget of Articles

The Union shall use all reasonable endeavors to provide the Publisher with a minimum of sixty (60) articles a year. The Publisher welcomes an increase of the annual article number during the term of this Agreement.

### 10. Advertising

- a. The Publisher and its media representatives (including external agencies) shall retain the sole right to solicit advertising, establish rates, and invoice for advertisements to appear in Journal. At the request of the Union, the Publisher shall consult with the Union about the use and appointment of external agencies. Advertisements will be consistent with the Union's professional and educational mission and reputation.
- b. In the event a prospective advertiser approaches the Editor-in-Chief, a member of the Editorial Board or the Union, the Union agrees to use its reasonable best efforts to refer that prospective advertiser to the Publisher.

### 11. Sponsorship Agreement

- a. For the calendar years 2014 through 2018 the Union shall sponsor the article-processing charge (APC) for approx. 300 articles accepted by the Editor(s)-in-Chief for publication in the Journal.
- b. For each of the calendar years 2014 through 2018 the Union agrees to deposit not less than 26,000 Euro into a Journal-specific Prepay Membership account (hereinafter called "**the Account**"). The Union agrees to prepay that amount upon the journal being open for submission. Before the end of December of 2014 the Union will remit the second year's amount to the Account. Subsequent payment will happen before the end of December of the preceding years.
- c. The Account shall be debited each time an article for which an APC is payable is accepted for publication. If the Journal publishes fewer articles than covered by the Account the remaining amount would carry over and be available for the next year.
- d. The Union shall ensure that at all times the balance remaining in the Account is sufficient to cover the APCs that would be debited if all articles that are submitted to the Journal were accepted for publication. If with such pre-calculation the Account is nearing depletion, the Publisher shall contact the Union's representatives to arrange for the Union to make additional payments into the Account.

- e. If the Publisher has requested further payments by the Union into the Account to ensure that at all times the balance remaining in the Account is sufficient to cover the APCs that would be incurred if all articles that are submitted to the Journal were accepted for publication, and if such further payment have not been received within thirty (30) days of receipt of invoice, the Publisher will have the right to suspend the payment of APCs via the Account and to switch on the tool that requests payments of APCs from the authors. In such an event the Journal's APC shall be the Publisher's standard APC at the time.

## **12. Term and Termination**

- a. This agreement shall become effective upon final signature by the parties and remain in force through December 31, 2018 and will be renewed automatically for two (2) year periods, unless written notice of termination is given at least seven (7) months prior to expiration of the agreement.
- b. Either party may immediately terminate this agreement if (i) a receiver is appointed for the other party or its property; (ii) the other party becomes insolvent or unable to pay its debts as they mature, or makes an assignment for the benefit of its creditors; (iii) the other party seeks relief or if proceedings are commenced against the other party or on its behalf under any bankruptcy, insolvency or debtor's relief law, and those proceedings have not been vacated or set aside within sixty (60) days from the date of their commencement; or (iv) if the other party is liquidated or dissolved, or is unable to perform fully under this agreement.
- c. In the event that either party shall default in the performance of any material obligation under this agreement, the other party shall have the right to issue written notice of the default. Upon failure of the defaulting party to cure the noticed default in all material respects within thirty (30) days following receipt of that notice, the party issuing that default notice shall have the right to terminate this agreement by further written notice.

## **13. Confidentiality**

- a. For either party, its "Confidential Information" shall mean its secret or proprietary information maintained by that party as confidential. Tangible forms of Confidential Information must be clearly marked as "confidential" or "proprietary" at the time of disclosure. To be Confidential Information, any information that is disclosed orally or visually must be designated as "confidential" or "proprietary" at the time of disclosure or with written confirmation within thirty (30) days following disclosure.
- b. Neither party shall disclose any item of Confidential Information of the other gathered during the term of this agreement unless: (i) the recipient shall have received the item of Confidential Information from sources lawfully permitted to disclose it, free from any confidentiality restrictions; (ii) the item of Confidential Information shall be available to the public by a person or entity not bound by any confidentiality restrictions and other than through the recipient; (iii) the item of Confidential Information shall have been known to the recipient prior to disclosure by the other party to this agreement, its representatives or agents; (iv) the item of Confidential Information shall have been independently developed by the recipient without reference to, or reliance on, disclosure by the other party to this agreement, its representatives or agents of the Confidential Information; or (v) the recipient shall be required to make such a disclosure by applicable law or at the direction of a court or governmental agency, but only after the discloser shall have had a reasonable opportunity to obtain a protective order, or similar relief.

#### **14. Representations, Warranties and Indemnification**

- a. The Union represents and warrants that: (i) it has the right and authority to enter into this agreement; (ii) the person executing this agreement on its behalf has the right and authority to do so; and (iii) no material in the Journal (other than as provided by the Publisher) shall infringe any copyright, or patent or obligation of confidentiality or violate any property right or other right of any person or contain any matter that may be libelous or otherwise actionable, including, but not limited to, any action related to any injury resulting from the use of any practice or formula disclosed in the Journal.
- b. The Union shall indemnify and hold the Publisher harmless from any loss, damage, expense (including reasonable, actual and documented attorneys' fees), recovery or judgment arising from any breach or alleged breach of any of the Union's representations, warranties or covenants set forth in Subsection 14 (a), subject to the limitations stated below.
- c. The Publisher represents and warrants that: (i) it has the right and authority to enter into this agreement; (ii) that the persons executing this agreement on its behalf have the right and authority to do so; and (iii) no advertisement provided by it for publication in the Journal will infringe any copyright or trademark or violate any property right or other right of any person or contain any matter that may be libelous.
- d. The Publisher shall indemnify and hold the Union harmless from any loss, damage, expense (including reasonable, actual and documented attorneys' fees), recovery or judgment arising from any breach or alleged breach of any of the Publisher's representations, warranties or covenants set forth in Subsection 14 (c), subject to the limitations stated below.
- e. Each party shall promptly inform the other of any claim made against either which, if sustained, would constitute a breach of any warranty made by the Publisher to the Union in this agreement. The Union shall defend any such claim made against the Union with counsel of the Union's selection. The Publisher shall reasonably cooperate with the Union in such defense and may join in such defense with counsel of the Publisher's selection at the Publisher's expense. After consultation with the Publisher and serious consideration of any objections the Publisher may have, the Union may settle any such claim made against the Union.

#### **15. Governing Law and Jurisdiction**

This agreement shall be governed by, and shall be construed in accordance with, the laws of the Federal Republic of Germany. The courts of Berlin, Germany shall have the exclusive jurisdiction. Both parties agree that the language of arbitration shall be English.

#### **16. Force Majeure**

Neither party will be liable for its delay or failure to perform to the extent caused by circumstances beyond its reasonable control, including, without limitation, fire, flood, strike, terrorism, civil, governmental or military authority or acts of God. Should a party's delay or nonperformance continue for a period of at least sixty (60) days, however, the other party may issue a notice of termination under Subsection 12(b).

#### **17. Relationship of Parties**

Nothing contained in this agreement shall be deemed or construed by the parties or by any third person to create a relationship or other than that of independent contractor between the Publisher and the Union. Neither party shall have the right or authority, or shall hold itself out to have the right or authority, to bind the other party, nor shall either party be responsible for the acts or omissions of the other.

#### **18. Value added tax**

All amounts mentioned in this agreement are exclusive of any VAT or similar taxes. If VAT or similar taxes are chargeable/due, the Publisher and Union shall pay to respectively the Union and Publisher (in addition to and at the same time as paying the consideration) an amount equal to the amount of the VAT or similar taxes.

#### **19. Notices and Addresses**

All written notices under this agreement shall be given by personal delivery, registered or certified mail; facsimile (confirmed by any of the foregoing methods); or overnight messenger service that regularly tracks its packages, to the named contact at the address set forth below. Notices shall be deemed effective upon actual receipt, provided that the sender shall retain confirmation of receipt. As express exceptions, however, (i) written notices from either party regarding the appointment of the Editor-in-Chief and Editorial Board members may be delivered by e-mail to their respective contacts below or as otherwise designated in writing by the parties from time to time, and (ii) either party may change its named contact or address for notice by notifying the other party of its new address in writing, delivered by first-class mail or courier.

If to Union: Hotaka Kawahata  
Vice Chairman  
Japan Geoscience Union  
4F Gakkai Center Bldg., 2-4-16 Yayoi, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0032, Japan  
Attn: Mihoko Tanigami, Head of the Secretariat  
E-mail: kawahata@aori.u-tokyo.ac.jp, office@jpgu.org

If to Springer: Springer Japan KK  
Chiyoda First Bldg. East, 3-8-1 Nishi-Kanda  
Chiyoda-ku, Tokyo 101-0065, Japan  
Attn: Takeyuki Yonezawa  
E-mail: takeyuki.yonezawa@springer.com

#### **20. Miscellaneous**

This agreement shall be binding upon and inure to the benefit of the successors and assigns of the Union and the successors and assigns of the Publisher. The Publisher may assign its rights and delegate its duties at its discretion. Because of the unique role of the Union as the owner of the Journal, the Union may not assign its rights or delegate its duties without the prior written consent of the Publisher. If one or more provisions of this agreement are held to be unenforceable under applicable law, each such provision shall be excluded from this agreement and the balance of the agreement shall be interpreted as if that provision were so excluded. This agreement sets forth the entire agreement of the parties as to its subject matter and supersedes all previous or

contemporaneous oral or written representations or agreements. It may not be modified or amended except by written agreement of the parties. Section 4, 13, 14, 15, 17, 19 and 20 shall survive the expiration or prior termination of this agreement.

IN WITNESS OF THE FOREGOING, the parties have caused this agreement to be executed as of the Effective Date.

**The Union**

DocuSigned by:  
*Toshitaka Tsuda*  
By: \_\_\_\_\_  
-15B4D558DB004A9...  
**Toshitaka Tsuda**  
Chairman of the Japan Geoscience Union

**Springer-Verlag GmbH  
Berlin/Heidelberg**

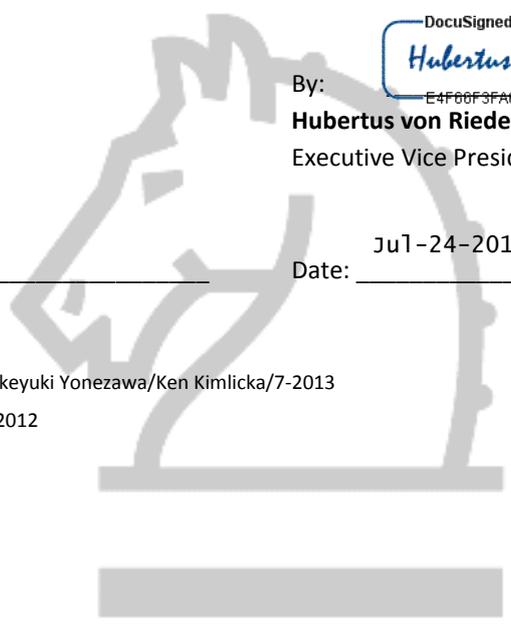
DocuSigned by:  
*Takeyuki Yonezawa*  
By: \_\_\_\_\_  
E829BF06414C458...  
**Takeyuki Yonezawa**  
Editorial Director

DocuSigned by:  
*Hubertus von Riedesel*  
By: \_\_\_\_\_  
E4F00F3FA0B3487...  
**Hubertus von Riedesel**  
Executive Vice President

Date: Jul-24-2013

Date: Jul-24-2013

GPU/PD/PS/ED/DS/Date: 3/57/349/Takeyuki Yonezawa/Ken Kimlicka/7-2013  
GT SpringerOpen Owning Society -12/2012



### Certificate of Completion

Envelope Number: 4C4DA49546E24957B6398631AE9F15F4	Status: Completed
Subject: JpGU Journal Publishing Agreement: Please DocuSign	
Manuscript Title:	
Source Envelope:	
Document Pages: 8	Signatures: 3
Certificate Pages: 2	Initials: 0
AutoNav: Enabled	
EnvelopeID Stamping: Enabled	
	Envelope Originator:
	Springer Japan Contract PhySci&Eng
	233 Spring Street
	New York, NY 10013
	contracts_physeng_japan@springer.com
	IP Address: 113.36.46.130

### Record Tracking

Status: Original July 24, 2013   12:04 TST	Holder: Springer Japan Contract PhySci&Eng contracts_physeng_japan@springer.com	Location: DocuSign
---	--	--------------------

### Signer Events

Takeyuki Yonezawa  
takeyuki.yonezawa@springer.com  
Editorial Director  
Springer  
Security Level: Email, Account Authentication (None)  
Consumer Disclosure:  
Not Offered  
ID:

### Signature

DocuSigned by:  
*Takeyuki Yonezawa*  
E929BF06414C458...  
Using IP Address: 113.36.46.130

### Timestamp

Sent: July 24, 2013 | 12:53 TST  
Viewed: July 24, 2013 | 12:54 TST  
Signed: July 24, 2013 | 12:54 TST

Toshitaka Tsuda  
tsuda@rish.kyoto-u.ac.jp  
Security Level: Email, Account Authentication (None)  
Consumer Disclosure:  
Not Offered  
ID:

DocuSigned by:  
*Toshitaka Tsuda*  
15B4D558DB004A9...  
Using IP Address: 130.54.130.244

Sent: July 24, 2013 | 12:55 TST  
Viewed: July 24, 2013 | 13:53 TST  
Signed: July 24, 2013 | 17:42 TST

Hubertus von Riedesel  
Hubertus.Riedesel@springer.com  
Executive Vice President  
Security Level: Email, Account Authentication (None)  
Consumer Disclosure:  
Not Offered  
ID:

DocuSigned by:  
*Hubertus von Riedesel*  
E4F66F3FA6B3487...  
Using IP Address: 213.71.6.130

Sent: July 24, 2013 | 17:42 TST  
Viewed: July 24, 2013 | 18:01 TST  
Signed: July 24, 2013 | 18:02 TST

In Person Signer Events	Signature	Timestamp
Editor Delivery Events	Status	Timestamp
Agent Delivery Events	Status	Timestamp
Intermediary Delivery Events	Status	Timestamp
Certified Delivery Events	Status	Timestamp
Carbon Copy Events	Status	Timestamp

Carbon Copy Events	Status	Timestamp
<p>Andrea Zimmermann andrea.zimmermann@springer.com Security Level: Email, Account Authentication (None) Consumer Disclosure: Not Offered ID:</p>	<b>COPIED</b>	Sent: July 24, 2013   18:02 TST
<p>Christian Witschel christian.witschel@springer.com Security Level: Email, Account Authentication (None) Consumer Disclosure: Not Offered ID:</p>	<b>COPIED</b>	Sent: July 24, 2013   18:02 TST
<p>Erdmuthe Raufelder Erdmuthe.Raufelder@springer.com Security Level: Email, Account Authentication (None) Consumer Disclosure: Not Offered ID:</p>	<b>COPIED</b>	Sent: July 24, 2013   18:02 TST
<p>Hotaka Kawahata kawahata@aori.u-tokyo.ac.jp Security Level: Email, Account Authentication (None) Consumer Disclosure: Not Offered ID:</p>	<b>COPIED</b>	Sent: July 24, 2013   18:02 TST
<p>Ken Kimlicka ken.kimlicka@springer.com Security Level: Email, Account Authentication (None) Consumer Disclosure: Not Offered ID:</p>	<b>COPIED</b>	Sent: July 24, 2013   18:02 TST
<p>Liesbeth Mol liesbeth.mol@springer.com Dr Security Level: Email, Account Authentication (None) Consumer Disclosure: Not Offered ID:</p>	<b>COPIED</b>	Sent: July 24, 2013   18:02 TST
<p>Mihoko Tanigami office@jpgu.org Security Level: Email, Account Authentication (None) Consumer Disclosure: Not Offered ID:</p>	<b>COPIED</b>	Sent: July 24, 2013   18:02 TST
Envelope Summary Events	Status	Timestamps
Envelope Sent	Hashed/Encrypted	July 24, 2013   18:02 TST
Certified Delivered	Security Checked	July 24, 2013   18:02 TST
Signing Complete	Security Checked	July 24, 2013   18:02 TST
Completed	Security Checked	July 24, 2013   18:02 TST



# “Progress in Earth and Planetary Science” 創刊の意義と特色

日本地球惑星科学連合副会長／ジャーナル企画経営委員会委員長 川幡 穂高 (東京大学)

“Progress in Earth and Planetary Science” がいよいよ創刊されます。その創刊の意義と内容についてご紹介したいと思います。

## 新 ジャーナルの名称の由来

さまざまな名称候補の中から、個別分野の偏りがなく、内容がすぐに分かる名称ということで、“Progress in Earth and Planetary Science” にするのがよいと、理事会全員一致で決まりました。“Science” と単数になったのは統合的なサイエンスを目指すためです。

## 日 本地球惑星科学連合 (JpGU) がジャーナルを出版する意義

個々の研究者レベルでみると、海外のジャーナルへの論文の投稿で十分との意見がありますが、これまでも社会の混乱（経済的困窮、戦争など）、イデオロギーの対立などにより世界的レベルで誌上発表などが影響を受けたことがあります。日本のコミュニティとして「学問の自由・独立」といった観点からも独自のジャーナルをもつことは重要です。もちろん、日本から情報発信していくために、日本の地球惑星科学コミュニティ全体としての強力なジャーナルを持つことの重要性はいうまでもありません。

## 新 ジャーナルの目指すもの

“Progress in Earth and Planetary Science” は、文字媒体による国際情報発信を目的としたものです。目標は「日本の地球惑星科学分野の国際情報発信強化」ですが、具体的には①地球惑星科学における世界の一極を担える「オープンアクセス電子ジャーナル」の創刊、②連合大会の多角的・統合的な成果の公表、③JpGU 参加 49 学会との共同発行、などを実現することです。最終的に日本学術振興会の補助なしに「独り立ち」できるまで成長したいと計画しています。

## オ ープンアクセス電子ジャーナルの特徴

“Progress in Earth and Planetary Science” は「オープンアクセス電子ジャーナル」です。オープンアクセスとは、読者が無料で何の制限もなく購読できることを意味します。その哲学は、「研究成果は納税者も含めた社会全体に還元されるべき」という考えに基づきます。出版された論文のアーカイブは、世界の数カ所にある巨大なデータセンターに半永久的に保存されます。個人のホームページに、ご自分の論文の pdf を自由に掲載でき、成果をアピールすることもできます。

現在、大学の図書館で契約額が毎年数 % 上昇し、購読料が大きな問題となっていますが、「オープンアクセス電子ジャーナル」なら読者は自由に閲覧できます。

## 掲 載論文の特徴

“Progress in Earth and Planetary Science” は、地球惑星科学を構成するすべての分野及びその関連分野をカバーしたいと考えています。宇宙惑星科学、大気水圏科学、地球人間圏科学、固体地球科学、地球生命科学はもとより、地球環境問題のような個別セクションを超えた地球惑星科学全体に関わるテーマを扱い、JpGU の特徴である地球惑星科学に関する複合的観点からのアプローチ、統合的概念の創出をめざします。論文のカテゴリに関しては、①地球惑星科学の最新の知見に関するレビュー（総論）、②連合大会の多角的・統合的な成果発表の中から優秀な発表論文を文字媒体としたもの、③一般投稿論文とします。レターは扱いません。「電子ジャーナル」の特徴を活かして、アニメーションを使用した説明を掲げる論文、大容量のデータなどを扱う論文なども歓迎します。海外・国内の質の高い論文を投稿してもらえよう出版社とも戦略を練り、魅了あるジャーナルにします。

## 創 刊号までのスケジュール

“Progress in Earth and Planetary Science” の創刊は 2014 年 1 月を目指します。すでに入札は終了し、本誌がお手元に届く頃には、出版社と契約し、投稿要領、論文の体裁、査読プロセスなどテクニカルな要件も決定されているはずですが、表紙のデザイン、出版社が投稿可能なシステムを作り上げるのには一月半ほどかかる予定です。また、投稿システムが完全に稼働するのは 9 月半ばになりそうですので、原稿の受付開始は 2013 年 9 月下旬を予定しています。準備状況は JpGU のホームページに掲載予定です。

## 投 稿料金について

投稿料金については、以下のように考えています：

- 1) 招待論文、総論 (review)、日本地球惑星科学連合大会優秀論文については、JpGU が投稿料金を全額補助します。投稿者の負担はありません。
- 2) JpGU 会員の一般投稿については、JpGU が投稿料金の大部分を補助します。投稿者の負担は 200 ユーロ (Euro) です。
- 3) JpGU 非会員の投稿料金は 1000 ユーロ (Euro) です。
- 4) なお、一般投稿論文はもちろん、招待論文、総論、連合大会優秀発表論文についても、すべてピアレビューによる査読を行います。これにより、公平性と掲載論文の質を確保します。
- 5) ぜひとも、会員諸氏のベストと思われる研究成果を“Progress in Earth and Planetary Science” に投稿していただき、本ジャーナルが地球惑星科学分野を代表する国際誌として育つことを期待します。

**Tentative list of the editorial board members in Level 1 (chief editor), 2 (section chief editor), & 3.**

**We will modify this editorial board structure by the end of July, for example, adding “Advisory editorial board” or something. Also we listed the member of Steering and planning committee of “Progress in Earth and Planetary Science”.**

**Level 1 – for Editors-in-Chief and Managing Editors**

Name: Yasufumi IRYU

Email: [iryu@m.tohoku.ac.jp](mailto:iryu@m.tohoku.ac.jp)

Affiliation: Institute of Geology and Paleontology, Graduate School of Science, Tohoku University

Mailing Address: Aramaki Aza Aoba 6-3, Aoba-ku, Sendai, 980-8578, Japan

**Level 2 – for Senior Handling Editors**

Name: Kazushige OBARA

Email: [obara@eri.u-tokyo.ac.jp](mailto:obara@eri.u-tokyo.ac.jp)

Affiliation: Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

Name: Kiyoshi KURAMOTO

Email: [keikei@ep.sci.hokudai.ac.jp](mailto:keikei@ep.sci.hokudai.ac.jp)

Affiliation: Department of CosmoSciences, Graduate School of Science, Hokkaido University

Name: Masaki SATOH

Email: [satoh@aori.u-tokyo.ac.jp](mailto:satoh@aori.u-tokyo.ac.jp)

Affiliation: Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo

Name: Jun MATSUMOTO

Email: [jun@center.tmu.ac.jp](mailto:jun@center.tmu.ac.jp)

Affiliation: Department of Geography, Graduate School of Urban Environmental Sciences, Tokyo Metropolitan University

Name: Hodaka KAWAHATA

Email: [kawahata@aori.u-tokyo.ac.jp](mailto:kawahata@aori.u-tokyo.ac.jp)

Affiliation: Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo

Name: Ryuji TADA

Email: [ryuji@eps.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:ryuji@eps.s.u-tokyo.ac.jp)

Affiliation: Department of Earth and Planetary Science, School of Science, The University of Tokyo

**Level 3 – for Handling Editors**

Name: Patrick MICHEL

Email: michel@oca.eu

Affiliation: Observatoire de la Cote D'Azur

Name: Lin-Ni HAU

Email: Inhau@jupiter.ss.ncu.edu

Affiliation: Institute of Space Science, Department of Physics, National Central University, Taiwan

Name: Noriko KITA

Email: noriko@geology.wisc.edu

Affiliation: Department of Geoscience, University of Wisconsin-Madison

Name: Kevin HAMILTON

Email: kph@hawaii.edu

Affiliation: Department of Meteorology and International Pacific Research Center, University of Hawaii

Name: Mark GREEN

Email: mbgreen@plymouth.edu

Affiliation: Center for the Environment, Plymouth State University

Name: John P. BURROWS

Email: burrows@iup.physik.uni-bremen.de

Affiliation: Institute of Environmental Physics and Remote Sensing IUP/IFE

University of Bremen

Name: R.B. SINGH

Email: rbsgeo1@yahoo.com

Affiliation: Department of Geography, University of Delhi

Name: Mike MEADOWS

Email: mmeadows@mweb.co.za

Affiliation: Department of Environmental & Geographical Science, South Lane, University of Cape Town

Name: Nigel TAPPER  
Email: School of Geography and Environmental Sciences, Monash University  
Affiliation: Nigel.Tapper@monash.edu

Name: Fenllin NIU  
Email: geol@rice.edu  
Affiliation: Department of Earth Science, Rice University

Name: Paul TACKLEY  
Email: ptackley@ethz.ch  
Affiliation: Department of Earth Sciences, ETH Zurich Institute fuer Geophysik

Name: Peter Van KEKEN  
Email: keken@umich.edu  
Affiliation: Department of Earth and Environmental Sciences University of Michigan

Name: James B. GILL  
Email: jgill@es.ucsc.edu  
Affiliation: Environmental Studies Department, University of California Santa Cruz

Name: Colin J.N. WILSON  
Email: colin.wilson@vuw.ac.nz  
Affiliation: School of Geography, Environment and Earth Sciences , Victoria University

Name: Craig R. BINA  
Email: craig@earth.northwestern.edu  
Affiliation: Dept. of Earth and Planetary Sciences, Weinberg College of Arts and Sciences, Northwestern University

Name: Dave RUBIE  
Email: Dave.Rubie@Uni-Bayreuth.DE  
Affiliation: Bayerisches Geoinstitut, University of Bayreuth

Name: Bjorn MYSEN  
Email: bmysen@ciw.edu

Affiliation: Geophysical Laboratory, Carnegie Institute of Washington

Name: Shun KARATO

Email: shun-ichiro.karato@yale.edu

Affiliation: Department of Geology & Geophysics, Yale University

Name: Toshiro TANIMOTO

Email: toshiro@geol.ucsb.edu

Affiliation: Department of Earth Science, University of California, Santa Barbara,

Name: Joseph KIRSCHVINK

Email: kirschvink@caltech.edu

Affiliation: California Technology University

Name: William M. IRVINE

Email: irvine@astro.umass.edu

Affiliation: Department of Astronomy, University of Massachusetts

Name: Heiko PALIKE

Email: heiko@noc.soton.ac.uk

Affiliation: Ocean and Earth Science, National Oceanography Centre Southampton, University of Southampton

Name: Junko HABU

Email: habu@berkeley.edu

Affiliation: Anthropology Department, University of California, Berkeley

Name: Kensei KOBAYASHI

Email: kkensei@ynu.ac.jp

Affiliation: Department of Chemistry and Biotechnology, Faculty of Engineering, Yokohama National University

Name: Genki INOUE

Email: genki@otsuma.ac.jp

Affiliation: School of Social Information Studies, Osuma Women's University

Name: Toshiyuki HIBIYA

Email: hibiya@eps.s.u-tokyo.ac.jp

Affiliation: Department of Earth and Planetary Science, Graduate School of Science, The University of Tokyo

Name: Setsuya NAKADA

Email: nakada@eri.u-tokyo.ac.jp

Affiliation: Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

Name: Takahiro MIYAUCHI

Email: tmiya@faculty.chiba-u.jp

Affiliation: Department of Earth Sciences, Graduate School of Science, Chiba University

Name: Eiji OHTANI

Email: ohtani@mail.tains.tohoku.ac.jp

Affiliation: Department of Earth and Planetary Materials Science, Graduate School of Science, Tohoku University

Name: Takao HIRAJIMA

Email: hirajima@kueps.kyoto-u.ac.jp

Affiliation: Department of Geology and Mineralogy, Graduate School of Science, Kyoto University

Name: Kazuyoshi ENDO

Email: endo@eps.s.u-tokyo.ac.jp

Affiliation: Department of Earth and Planetary Science, The University of Tokyo

Name: Yasushi WATANABE

Email: y-watanabe@aist.go.jp

Affiliation: Institute for Geo-Resources and Environment, Geological Survey of Japan

Name: Teruyuki KATO

Email: teru@eri.u-tokyo.ac.jp

Affiliation: Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

Name: Hitoshi KAWAKATSU

Email: hitosi@eri.u-tokyo.ac.jp

Affiliation: Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

Name: Fumi SUGITA

Email: fsugita@cuc.ac.jp

Affiliation: Chiba University of Commerce

Name: Yuji KODAMA

Email: kodama.yuji@nipr.ac.jp

Affiliation: National Institute for Polar Research

Name: Kazuo SHIBUYA

Email: shibuya@nipr.ac.jp

Affiliation: National Institute for Polar Research

Name: Yugo KANAYA

Email: yugo@jamstec.go.jp

Affiliation: Research Institute for Global Change, Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology

Name: Ken IKEHARA

Email: k-ikehara@aist.go.jp

Affiliation: Institute of Geology and Geoinformation, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

Name: Hisayoshi SHIMIZU

Email: shimizu@eri.u-tokyo.ac.jp

Affiliation: Earthquake Research Institute, , The University of Tokyo

Name: Mamoru YAMAMOTO

Email: yamamoto@rish.kyoto-u.ac.jp

Affiliation: Research Institute for Sustainable Humanosphere, Kyoto University

Name: Tsutomu NAGATSUMA

Email: tnagatsu@nict.go.jp

Affiliation: National Institute of Information and Communications Technology

Name: Simon WALLIS

Email: simon.wallis@e.mbox.nagoya-u.ac.jp

Affiliation: Department of Earth and Planetary Sciences, Nagoya University

Name: Hitoshi MIKADA

Email: mikada@mac.com

Affiliation: Graduate School of Engineering, Kyoto University

Name: Akihiko KONDOH

Email: kondoh@faculty.chiba-u.jp

Affiliation: Center for Environmental Remote Sensing, Chiba University

Name: Yuji MURAYAMA

Email: mura1@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

Affiliation: Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba

Name: Makiko OHTAKE

Email: ohtake.makiko@jaxa.jp

Affiliation: Department of Planetary Science, Institute of Space and Astronautical Science, Japan Aerospace Exploration Agency

Name: Masahiro CHIGIRA

Email: chigira@slope.dpri.kyoto-u.ac.jp

Affiliation: Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

Name: Toshio KIKUCHI

Email:

Affiliation: Graduate School of Urban Environmental Sciences, Tokyo Metropolitan University,

**Steering and planning committee of “Progress in Earth and Planetary Science”**

Chairman

Name: Hodaka KAWAHATA

Email: kawahata@aori.u-tokyo.ac.jp

Affiliation: Atmosphere Ocean Research Institute, the University of Tokyo

Vice president of JpGU, Senior Handling Editors

Name: Toshitaka TSUDA

Email: tsuda@rish.kyoto-u.ac.jp

Affiliation: Research Institute for Sustainable Humanosphere

President of JpGU

Name: Gaku KIMURA

Email: gaku@eps.s.u-tokyo.ac.jp

Affiliation: Department of Earth and Planetary Science of the Graduate School of Science, The University of Tokyo

Vice president of JpGU (Former President of JpGU)

Name: Masato NAKAMURA

Email: nakamura.masato@me.com

Affiliation: Institute of Space and Astronautical Science of Japan Aerospace Exploration Agency

Vice president of JpGU

Name: Eiichi TAJIKA

Email: tajika@k.u-tokyo.ac.jp

Affiliation: Department of Complexity Science and Engineering, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo

Board member of JpGU

Name: Yasufumi IRYU

Email: iryu@m.tohoku.ac.jp

Affiliation: Institute of Geology and Paleontology, Graduate School of Science, Tohoku University

Editors-in-Chief and Managing Editors

Name: Kazushige OBARA

Email: obara@eri.u-tokyo.ac.jp

Affiliation: Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

Senior Handling Editors

Name: Kiyoshi KURAMOTO

Email: keikei@ep.sci.hokudai.ac.jp

Affiliation: Department of CosmoSciences, Graduate School of Science, Hokkaido University

Senior Handling Editors

Name: Masaki SATOH

Email: satoh@aori.u-tokyo.ac.jp

Affiliation: Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo

Senior Handling Editors

Name: Jun MATSUMOTO

Email: jun@center.tmu.ac.jp

Affiliation: Department of Geography, Graduate School of Urban Environmental Sciences, Tokyo Metropolitan University

Senior Handling Editors

Name: Ryuji TADA

Email: ryuji@eps.s.u-tokyo.ac.jp

Affiliation: Department of Earth and Planetary Science, School of Science, The University of Tokyo

Senior Handling Editors

Name: Hirokuni ODA

Email: hirokuni-oda@aist.go.jp

Affiliation: Institute of Geology and Geoinformation, Geological Survey of Japan, AIST

Inside expert

Name: Yoshiharu OMURA

Email: omura@rish.kyoto-u.ac.jp

Affiliation: Reserach Institute for Sustainable Humanosphere, Kyoto University

Section president of Space and Planetary Sciences

Name: Teruyuki NAKAJIMA

Email: teruyuki.nakajima@aori.u-tokyo.ac.jp

Affiliation: Atmosphere and Ocean Research Institute

Section president of Atmosphere and Hydrosphere Sciences

Name: Yukio HIMIYAMA

Email: himiyama.yukio@a.hokkyodai.ac.jp

Affiliation: Faculty of Education, Hokkaido University of Education

Section president of Human Geosciences

Name: Eiji OHTANI

Email: ohtani@m.tohoku.ac.jp

Affiliation: Department of Earth and Planetary Materials Science, Graduate School of Science, Tohoku University

Section president of Solid Earth Sciences

Name: Hiroshi KITAZATO

Email: kitazatoh@jamstec.go.jp

Affiliation: Institute of Biogeosciences (BioGeos), Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology

Section president of Biogeosciences

Name: Kazuhiro HAYASHI

Email: khayashi@nistep.go.jp

Affiliation: National Institute of Science & Technology Policy

Outside expert

## ジャーナル資料6：編集長委員会状況

### 1. ジャーナル編集委員会

(宇宙惑星科学セクションの編集長が決定しました)

総編集長	地球生命科学	井龍康文	東北大学大学院理学研究科地学専攻
編集長	地球生命科学	川幡穂高	東京大学大気海洋研究所
編集長	固体地球科学	小原一成	東京大学地震研究所
編集長	大気水圏科学	佐藤正樹	東京大学大気海洋研究所
編集長	大気水圏科学	多田隆治	東京大学大学院理学系研究科
編集長	地球人間圏科学	松本淳	首都大学東京大学院都市環境科学研究科
編集長	宇宙惑星科学	倉本 圭	北海道大学大学院理学院宇宙理学専攻

### 2. [Progress in Earth and Planetary Science]の創刊号までのスケジュール]

「Progress in Earth and Planetary Science」の創刊号の発行は、2014年1月を目指します。現在、出版会社について入札が終了し、契約文案をつめているところで、7月中には契約予定です。7月中に投稿に関する投稿要領、論文の体裁、査読プロセスなどテクニカルな要件をすべて決定します。そして、表紙のデザインを決定するとともに、出版会社が投稿可能なシステムを作りあげるのに、一月半ほどかかるので、システムが完全に稼働するのは9月半ばになる予定です。そこで、原稿の受付開始は2013年9月下旬となる公算が高いと言えます。準備状況などについては、日本地球惑星科学連合のホームページに掲載するとともに、参加49学会にはニュースでの配信、海外向けにはAGU、EGUなどの、広告を掲載するつもりです。

3. 7月26日に第3回編集長会議を行い、SPRINGERが創る「Progress in Earth and Planetary Science」のHP(案内、投稿規定等提示)に必要なデータはすべて送りました。

\*Editorial board などについて、最後まで追加していく予定です。よろしくお願いいたします。

川幡穂高

資料 7 :

## **Progress in Earth and Planetary Science**

Dear FOR EXAMPLE; Dr. Hodaka Kawahata,

We are writing to cordially invite you to submit or recommend papers to the “Progress in Earth and Planetary Science” (Springer), an open access journal, be launched by JPGU.

### **Aims & Scope**

Progress in Earth and Planetary Science” is a new international journal devoted to review papers and original research papers, in Space and Planetary Sciences, Atmosphere and Hydrosphere Sciences, Human Geosciences, Solid Earth Sciences and Biogeosciences. Thus it covers a wider field than the usual specialist journals, thus attracting many students and research scientists globally. Review papers, reflecting all aspects of above-mentioned sciences or treatises on an expanding Space and Earth Sciences subjects, are especially welcomed. Please visit the following website: [www.springer.org/journal/pepsi?](http://www.springer.org/journal/pepsi?).

### **About Open Access**

As an Open Access Journal, you will have full access to all the articles published online and be able to download them without any subscription fees. Moreover, the influence of your research will rapidly expand once you become an OA author.

### **Paper Submission**

Manuscripts are expected to be submitted at **Online Submission System**. Once a manuscript is accepted for publication, it will undergo language copyediting, typesetting, and reference validation in order to provide the highest possible publication quality. Especially we welcome a review paper which

### **Paper Submission Fee**

All submitted manuscript will be peer reviewed. The submission fee is free of charge for review papers & special manuscripts. The fee is 200 Euro (250 US\$) & 1,000 Euro (1250 US\$) per article in case of normal submission by JpGU member and nonmember, respectively. Please ask us the details about the journal if you have any question.

Yours sincerely,

*Prof. xx & yy*

Editors in Chief PEPSI Editorial Office

### **Journal Information**

### **Contact Us**

E-mail: xxxxx

Tel: +81(3)yyyy-xxxx

平成25年度 共催・協賛・後援等一覧

2013/7/29 13:17

承認日	種別	会合名等	開催期間	会場
4月9日	協賛	第54回高压討論会	2013年11月14日(木)～16日(土)	朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
4月18日	後援	科学教育研究協議会・第60回全国研究大会・岩手大会	2013年8月2日(金)～8月4日(日)	専修大学北上高等学校
5月7日	協賛	日本地質学会第120年学術大会(仙台大会)巡検	2013年9月13日(金)、14日(土)、17日(火)、18日(水)	宮城県仙台市など13コース
5月16日	共催	Goldschmidt Conference 2016	2016年6月26日(日)～7月1日(金)	横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜)
6月22日	協賛	女子中高生夏の学校2013～科学・技術者のたまごたちへ～	2013年8月8日(木)～8月10日(土)	国立女性教育会館
7月29日	協賛	ハイパフォーマンスコンベンティングと計算科学シンポジウム(HPCS2014)	2014年1月7日(火)～8日(水)	学術総合センター一橋記念講堂

個人情報のため非公開とする

平成25年度会員数推移

	正会員					准会員					大会会員						
	入会	変更(+)	退会(-)	喪失(-)	削除(-)	現会員数	入会	変更(-)	退会(-)	喪失(-)	削除(-)	現会員数	入会	退会(-)	削除(-)	変更(-)	現会員数
3月末						7304						392	631				634
4月	170	31	4		3	7498	19	16				395	51		6	15	664
5月	281	51			6	7824	22	32				385	35		2	19	678
6月			2	84	5	7733					1	384			1		677
7月						7733						384					677
8月						7733						384					677
9月						7733						384					677
10月						7733						384					677
11月						7733						384					677
12月						7733						384					677
1月						7733						384					677
2月						7733						384					677
3月	451	82	6	84	14		41	48	0	0	1		717	0	9	34	

正会員

2013/6/30現在 7733 名

准会員

384 名

大会会員

677 名

変更  
大会会員より正会員へ  
准会員から正会員へ

	団体会員		賛助会員	
	入会	退会	入会	退会
3月末				
4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月	0	0	49	0

3月末
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

全会員  
8330 名  
8557 名  
8887 名  
8794 名

No	1
----	---

事業年度	自	平成24年4月1日	法人コード	A003674
	至	平成25年3月31日	法人名	公益社団法人日本地球惑星科学連合

別表C(5) 特定費用準備資金

別表C(2) 控除対象財産 における 4. 特定費用準備資金の明細となるほか、別表A(1)及びA(2) 収支相償の計算 における公益目的事業に係る特定費用準備資金に関する調整、別表B(5) 公益目的事業比率算定に係る計算表 における特定費用準備資金当期積立額及び取崩額、別表C(1) 遊休財産額の保有制限の判定 における特定費用準備資金の公益実施費用額への算入額及び特定費用準備資金の公益実施費用額からの控除額の算出に用います。

事業番号	公 1	特定費用準備資金の名称 (貸借対照表科目名)	日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金
	将来の特定の活動の名称	日本地球惑星科学連合大会記念行事	
	当該活動の内容	連合大会の記念行事(25周年大会等)の開催、およびこれに関わる準備経費	
	計画期間(事業年度)	平成 24 年度 ~ 平成 27 年度 ( 4 年間)	
	当該活動の実施予定時期		
	積立限度額の算定方法	会場費 500万 招聘費 200万 システム改修費 400万 事務経費 100万	
	当該事業年度の目的外取崩し	なし	

1. 控除対象財産における特定費用準備資金並びに公益目的事業比率における当期積立額及び取崩額の計算  
【計画全体】(経過年度は実測値を記載)

年度	利益の繰入割合 ※1		積立額	取崩額	特定費用準備資金の額 (累計)	積立限度額
	50%	50%超				
24	○		12,000,000円	円	12,000,000円	12,000,000円
25	○		円	3,000,000円	9,000,000円	円
26	○		円	6,000,000円	3,000,000円	円
27	○		円	3,000,000円	0円	円
	○		円	円	円	円
	○		円	円	円	円
			円	円	円	円
			円	円	円	円
			円	円	円	円
			円	円	円	円
			円	円	円	円

※1 当該年度の収益事業等の利益の繰入割合について、該当欄を選択してください。(将来の年度は、記載不要です。)

【当年度】(計画全体のうち、当年度分の数字を転記)

年度	積立額	取崩額	特定費用準備資金の額 (累計)	積立限度額
24	12,000,000円	円	12,000,000円	12,000,000円

算出した数値を、各事業別に、それぞれ、別表B(5) V (特定費用準備資金当期積立額)及び別表B(5) VI (特定費用準備資金当期取崩額)に転記してください。  
また、当該特定費用準備資金が、公益目的事業に要する資金である場合、算出した数値を、それぞれ、別表C(1)の特定費用準備資金の公益実施費用額への算入額(19欄)及び特定費用準備資金の公益実施費用額からの控除額(23欄)に算入してください。

2. 公益目的事業全体の収支相償における特定費用準備資金の当期積立額及び取崩額の計算

【当該特定費用準備資金が、公益目的事業に係る資金である場合のみ、記入してください。】

【計画全体】(当年度までの数値を記入(将来の数値は記入不要))

年度	収支相償上の 積立限度額	収支相償上の積立額 ※2	収支相償上の 取崩限度額	収支相償上の取崩額 ※2	収支相償上の特定費用準備資金の額(累計)
24	12,000,000円	円	0円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円

※2 収支相償上の積立額及び取崩額は、それぞれの限度額の範囲内で記載してください。

年度	収支相償上の積立限度額	収支相償上の積立額	収支相償上の取崩限度額	収支相償上の取崩額	収支相償上の特定費用準備資金の額(累計)
24	12,000,000円	12,000,000円	0円	円	円

収益事業等の利益の50%を公益目的事業財産に繰入れる場合には、算出した数値を、それぞれ、別表A(1)（収益事業等の利益額の50%を繰入れる場合）の公益目的事業に係る特定費用準備資金に関する調整(10欄)に算入してください。  
 収益事業等の利益の50%超を公益目的事業財産に繰入れる場合には、算出した数値を、それぞれ、別表A(2)（収益事業等の利益額を50%を超えて繰入れる場合）の公益目的事業に係る特定費用準備資金に関する調整(11欄)に算入してください。

## 日本地球惑星科学連合大会記念行事開催資金取扱規則（案）

2013年○月○日理事会制定

### （総 則）

第1条 この規則は、公益社団法人日本地球惑星科学連合（以下「当連合」という。）の、連合大会記念行事開催資金（以下「資金」という。）の取扱いに関し、必要な事項を定めるものである。

### （目 的）

第2条 この資金は、当連合の公益事業である学術大会の開催および普及活動の一層の発展に資するために、連合大会記念行事の開催のための資金を設立し、その運用により得られた利益を含めて事業費に充てることを目的とする。

### （資金計画）

第3条 この資金は、当連合の余剰金を財源として平成24年度に1,200万円を積立てる。なお、この資金の積立限度額は、1,200万円とする。

2 この資金は、平成25年度に300万円、平成26年度に600万円、平成27年度に300万円を取り崩し、第2条の目的に適う事業費に充てる。

### （資金の運用方法）

第4条 この資金は特定費用準備資金とし、元本の安全性に配慮して、定期預金で運用する。

### （資金の支出）

第5条 本資金は、当連合が主催または共催する以下の一項に該当する事業に対して支出することができる。

1. 連合大会記念行事の開催に関わる経費
2. 連合大会記念行事の開催に向けた準備と開催報告に関わる経費
3. 連合大会記念行事として実施される、セミナーやシンポジウム等の開催に関わる経費

### （資金活用の発議）

第6条 第5条に関しては、当連合の大会運営委員会、広報普及委員会、情報システム委員会からの発議と理事会の承認により、本資金を活用した事業を実施する。

### （資金の維持・管理）

第7条 この資金は第2条の目的を達成するため、善良の管理者の注意をもって維持・管

理をしなければならない。

- 2 この資金は他の資金と明確に区分して管理しなければならない。
- 3 この資金は第 2 条及び 5 条に規定する事業目的以外に使用することはできない。  
やむを得ず事業目的以外に使用する場合には、理事会にて過半数の出席のもとで、  
3 分の 2 以上の議決を必要とする。

(事業報告)

第 8 条 会長は事業内容を年度毎にとりまとめ、社員総会で報告する。

(規則の改廃)

第 9 条 本規則は、理事会の決議により改廃することができる。

附則

本規則は、平成 25 年 ○月○日から施行する。

# 貸借対照表

平成25年 3月31日現在

公益目的事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	80,011,616	64,461,107	15,550,509
未 成 事 業 支 出	48,208	14,605	33,603
未 立 前 払 費 用	7,476,600	8,147,952	-671,352
仮 払 費 用	0	5,205	-5,205
未 収 消 費 税 等	178,500	178,500	0
	55,200	0	55,200
	0	2,110	-2,110
流動資産合計	87,770,124	72,809,479	14,960,645
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定 期 預 金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(3) その他固定資産			
什 器 備 品	188,509	0	188,509
ソ フ ト ウ ェ ー 7	5,351,107	7,985,551	-2,634,444
保 証 金	340,200	340,200	0
その他固定資産合計	5,879,816	8,325,751	-2,445,935
固定資産合計	10,879,816	13,325,751	-2,445,935
資産合計	98,649,940	86,135,230	12,514,710
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金 用 金	277,822	471,424	-193,602
未 成 事 業 費 受 入	1,443,669	1,320,897	122,772
未 立 前 払 受 会 費	10,799,000	10,137,500	661,500
預 り 受 取 金	2,980,000	2,990,000	-10,000
仮 受 取 金	127,111	148,850	-21,739
未 払 法 人 税 金 等	50,000	1,277,573	-1,227,573
未 払 消 費 税 等	0	46,700	-46,700
	1,459,000	0	1,459,000
流動負債合計	17,136,602	16,392,944	743,658
負債合計	17,136,602	16,392,944	743,658
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	81,513,338	69,742,286	11,771,052
	5,000,000	5,000,000	0
正味財産合計	81,513,338	69,742,286	11,771,052
負債及び正味財産合計	98,649,940	86,135,230	12,514,710

(注)

当公益社団法人は「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」第44条の認定を受け、2011年12月1日付けで公益社団法人として設立登記を行った。  
この関係で、2011年12月1日から3月31日までが公益社団法人としての最初の事業年度となったので、当該期間を前年度とし、本書類をを作成した。

# 正味財産増減計算書

平成25年 4月 1日から平成25年 6月30日まで

公益目的事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	1,253	-1,253
基本財産受取利息	0	1,253	-1,253
受当年度事業収益	9,505,000	9,998,000	-493,000
事業収益	9,505,000	9,998,000	-493,000
大会事業収益	74,006,450	71,210,800	2,795,650
大会事業収益	74,006,450	71,115,800	2,890,650
大会参加料収入	43,342,500	43,790,500	-448,000
大会参加料収入	9,284,000	9,170,500	113,500
大会参加料収入	15,850,000	12,900,000	2,950,000
大会参加料収入	770,000	1,050,000	-280,000
大会参加料収入	1,180,000	840,000	340,000
大会参加料収入	650,000	450,000	200,000
大会参加料収入	1,929,250	2,005,000	-75,750
大会参加料収入	239,700	296,500	-56,800
大会参加料収入	270,000	270,000	0
大会参加料収入	491,000	343,300	147,700
大会参加料収入	0	95,000	-95,000
大会参加料収入	0	70,000	-70,000
大会参加料収入	0	25,000	-25,000
大会参加料収入	68,002	78,643	-10,641
大会参加料収入	0	14,640	-14,640
大会参加料収入	68,002	64,003	3,999
経常収益計	83,579,452	81,288,696	2,290,756
(2) 経常費用			
事業費用	47,179,434	59,593,880	-12,414,446
事業費用	6,696,266	7,944,648	-1,248,382
事業費用	621,276	788,840	-167,564
事業費用	3,201,500	3,765,500	-564,000
事業費用	210,000	360,000	-150,000
事業費用	2,991,500	3,405,500	-414,000
事業費用	374,570	350,000	24,570
事業費用	1,990,700	3,099,920	-1,109,220
事業費用	260,285	432,355	-172,070
事業費用	1,730,415	2,667,565	-937,150
事業費用	475,015	1,951,527	-1,476,512
事業費用	1,275,222	2,555,872	-1,280,650
事業費用	403,111	1,268,029	-864,918
事業費用	4,141,689	7,692,826	-3,551,137
事業費用	654,293	0	654,293
事業費用	2,142,000	3,201,450	-1,059,450
事業費用	125,856	140,083	-14,227
事業費用	0	36,564	-36,564
事業費用	934,500	3,703,770	-2,769,270
事業費用	285,040	610,959	-325,919
事業費用	147,826	111,406	36,420
事業費用	19,077,064	18,551,360	525,704
事業費用	1,024,664	1,349,460	-324,796
事業費用	89,242	150,828	-61,586
事業費用	15,102,444	14,143,584	958,860
事業費用	2,738,584	2,765,988	-27,404
事業費用	122,130	141,500	-19,370
事業費用	4,697,056	3,956,400	740,656
事業費用	11,200	0	11,200
事業費用	1,406,238	1,510,496	-104,258
事業費用	10,000	815,000	-805,000
事業費用	2,587,200	5,130,583	-2,543,383
事業費用	0	4,667,250	-4,667,250
事業費用	2,587,200	463,333	2,123,867
事業費用	53,021	98,233	-45,212
事業費用	2,100	3,240	-1,140
事業費用	8,380	0	8,380
事業費用	2,655,042	9,923,764	-7,268,722
事業費用	1,533,035	4,057,541	-2,524,506
事業費用	83,843	379,388	-295,545
事業費用	226,045	597,061	-371,016
事業費用	29,440	280,760	-251,320
事業費用	196,605	316,301	-119,696
事業費用	75,658	147,283	-71,625
事業費用	0	45,188	-45,188
事業費用	271,870	317,464	-45,594
事業費用	1,890	61,215	-59,325
事業費用	220,278	887,952	-667,674
事業費用	205,516	792,540	-587,024

事務機の賃借料	14,762	88,572	-73,810
その他	0	6,840	-6,840
諸謝の金課料	126,000	1,207,500	-1,081,500
租税公数	800	1,502,500	-1,501,700
支払手託の数	46,620	179,906	-133,286
委	0	525,000	-525,000
その他	0	525,000	-525,000
雑	69,003	15,766	53,237
経常費用計	49,834,476	69,517,644	-19,683,168
評価損益等調整前当期経常増減額	33,744,976	11,771,052	21,973,924
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	33,744,976	11,771,052	21,973,924
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	33,744,976	11,771,052	21,973,924
一般正味財産期首残高	81,513,338	69,742,286	11,771,052
一般正味財産期末残高	115,258,314	81,513,338	33,744,976
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	115,258,314	81,513,338	33,744,976

## 連合大会システム改修について

---

情報システム委員会・大会運営委員会

### 【改修内容】

#### A. プログラム編成システム

・ 1日に設定できるコマ数を現状4コマ固定から最大8コマ設定変更可能とするで、セッションに対して、口頭発表のコマ数を、0.5コマ単位で割り当てられ、時間の無駄をなくし、きめ細かい対応が可能となる。

#### B. プログラム編成システムの完全英語化

・ 現状日本語サイトのみであるために、外国人コンビーナは、プログラム編成処理（セッション時間割作成）は、独自で行なえない。完全英語化を行なうことにより、日本人のサポートなしで、外国人コンビーナがプログラム編成処理を行なうことを可能とする。

#### C. 投稿システム、文字装飾、特殊文字入力の簡易化

・ 現在、入力が不可になっているギリシャ文字を代表とする特殊文字群\*について、一覧表から選択して入力可能とする。また、上付き、下付き等の文字装飾について、装飾種類の指定ボタンを設定し、選択することで、タグ入力の省略化をはかる。

(\*入力可能となる特殊文字群は別紙参照)

### 【改修見積金額】

¥1,438,500

### 【改修納期】

A. プログラム編成システム 2週間

B. プログラム編成システムの完全英語化 2～3週間

C. 投稿システム、文字装飾、特殊文字入力の簡易化 2週間

平成25年7月17日

## 御 見 積 書

日本地球惑星科学連合

御中



下記の通りお見積り申し上げます。

### 株式会社JTBコミュニケーションズ

〒530 - 0001 大阪市北区梅田3丁目3番10号  
TEL06(6348)1371(代) FAX06(6348)1375  
イベントコミュニケーション1局 今若 敬

件 名 :	日本地球惑星科学連合2014年大会システム改修
金 額 :	¥1,438,500 うち消費税 ¥68500-
提供期間 :	2013年8月 ~ 2014年9月

# 御見積明細書

平成25年7月17日

	数量	単位	単価	金額	摘要
A プログラム編成システム改修	1	式	¥360,000	¥360,000	
4コマから8コマへ変更					1
コマ割設定(管理システム)					
コマ開始/終了時間設定(管理システム)					
口頭発表コマ割付対応(日本語/英語/管理システム)					
<b>小計</b>				<b>¥360,000</b>	
B プログラム編成システムの完全英語化	1	式	¥360,000	¥360,000	
日本語抽出・プログラム内テキスト修正					
日本語翻訳(英訳)	1	式	¥170,000	¥170,000	2
<b>小計</b>				<b>¥530,000</b>	
C 投稿システム、特殊文字入力 of 簡易化	1	式	¥480,000	¥480,000	
文字装飾(上付き、太字、斜体、下線等)タグ入力対応					3
特殊文字タグ入力対応					4
投稿PDF生成特殊文字対応					5
・OTF(Open Type Font)パッケージ対応					
・特殊文字タグ対応					
以上、すべて日本語/英語/管理システム対応					
<b>小計</b>				<b>¥480,000</b>	
<b>合計</b>				<b>¥1,370,000</b>	
消費税		5%		¥68,500	
<b>総計</b>				<b>¥1,438,500</b>	

- 1 AM1-1、AM1-2、AM2-1、AM2-2、PM1-1、PM1-2、PM2-1、PM2-2の8コマに変更する。  
プログラム編成時は上記の表記となりますが、PDF・HTML生成時等は表記名を設定可能にします。(AM1-1の枠にあるセッションはAM1と表示可能とする)詳細については運用上の問題もあると思いますので、要相談とさせていただきます。
- 2 現行の日本語プログラムをすべて英訳するものとします。
- 3 文字装飾ボタン([上付き][太字]等)押下によるタグ挿入
- 4 特殊文字ボタン押下により特殊文字一覧画面を表示し、文字画像クリックによる特殊文字タグ挿入
- 5 対象特殊文字については、別添「特殊文字.doc」「特殊文字例2.doc」でご提示頂いた文字のうち、Texによる投稿PDF生成で対応可能な文字を対象とします。背景色が赤色のものは不可。

## 特殊文字対応表1

入力可能となる特殊文字

&#8208;	-	&#8209;	-	&#8211;	—	&#8212;	—	&#8213;	—	&#8214;	
&#8215;	=	&#8216;	‘	&#8217;	’	&#8218;	,	&#8219;	’	&#8220;	“
&#8221;	”	&#8222;	„	&#8224;	†	&#8225;	‡	&#8226;	•	&#8228;	.
&#8229;	••	&#8230;	…	&#8240;	%	&#8242;	’	&#8243;	”	&#8245;	`
&#8246;	“	&#8247;	”	&#8249;	<	&#8250;	>	&#8251;	⊗	&#8252;	!!
&#8254;	-	&#8260;	/	&#8261;	[	&#8262;	]	&#8304;	0	&#8308;	4
&#8309;	5	&#8310;	6	&#8311;	7	&#8312;	8	&#8313;	9	&#8314;	+
&#8315;	-	&#8316;	=	&#8317;	(	&#8318;	)	&#8319;	n	&#8320;	0
&#8321;	1	&#8322;	2	&#8323;	3	&#8324;	4	&#8325;	5	&#8326;	6
&#8327;	7	&#8328;	8	&#8329;	9	&#8330;	+	&#8331;	-	&#8332;	=
&#8333;	(	&#8334;	)	&#8355;	₣	&#8356;	£	&#8359;	₪	&#8361;	₩
&#8362;	₪	&#8363;	₪	&#8364;	€	&#8451;	°C	&#8453;	%	&#8457;	°F
&#8467;	ℓ	&#8470;	No.	&#8481;	TEL	&#8482;	™	&#8486;	Ω	&#8491;	Å
&#8494;	e	&#8531;	⅓	&#8532;	⅔	&#8539;	⅛	&#8540;	⅜	&#8541;	⅝
&#8542;	⅞	&#8544;	I	&#8545;	II	&#8546;	III	&#8547;	IV	&#8548;	V
&#8549;	VI	&#8550;	VII	&#8551;	VIII	&#8552;	IX	&#8553;	X	&#8554;	XI
&#8555;	XII	&#8560;	i	&#8561;	ii	&#8562;	iii	&#8563;	iv	&#8564;	v
&#8565;	vi	&#8566;	vii	&#8567;	viii	&#8568;	ix	&#8569;	x	&#8592;	←
&#8593;	↑	&#8594;	→	&#8595;	↓	&#8596;	↔	&#8597;	↕	&#8598;	↗
&#8599;	↘	&#8600;	↙	&#8601;	↘	&#8616;	↕	&#8632;	↖	&#8633;	↗
&#8658;	⇒	&#8660;	⇔	&#8679;	⇕	&#8704;	∇	&#8706;	∂	&#8707;	∃
&#8710;	△	&#8711;	▽	&#8712;	∈	&#8715;	≡	&#8719;	∏	&#8721;	∑
&#8722;	—	&#8725;	/	&#8729;	•	&#8730;	√	&#8733;	∞	&#8734;	∞
&#8735;	└	&#8736;	∠	&#8739;		&#8741;	//	&#8743;	∧	&#8744;	∨
&#8745;	∩	&#8746;	∪	&#8747;	∫	&#8748;	∫∫	&#8750;	∫	&#8756;	∴
&#8757;	∴	&#8758;	:	&#8759;	::	&#8764;	~	&#8765;	∞	&#8776;	≈
&#8780;	≡	&#8786;	≡	&#8800;	≠	&#8801;	≡	&#8804;	≤	&#8805;	≥
&#8806;	≤	&#8807;	≥	&#8810;	≪	&#8811;	≫	&#8814;	≠	&#8815;	≠
&#8834;	⊂	&#8835;	⊃	&#8838;	⊆	&#8839;	⊇	&#8853;	⊕	&#8857;	⊙
&#8869;	⊥	&#8895;	△	&#8962;	⊠	&#8976;	⊐	&#8978;	⊑	&#8992;	⊓

特殊文字対応表2tex関連

入力可能となる特殊文字 tex

§	¥S	¶	¥P	©	¥copyright	£	¥pounds
±	¥pm	∓	¥mp	×	¥times	÷	¥div
*	¥ast	★	¥star	○	¥circ	●	¥bullet
∩	¥cap	∪	¥cup	∩	¥sqcap	∪	¥sqcup
∨	¥vee	∧	¥wedge	\	¥setminus	∩	¥wr
◇	¥diamond	†	¥dagger	‡	¥ddagger	∩	¥amalg
△	¥bigtriangleup	▽	¥bigtriangledown	◁	¥triangleleft	▷	¥triangleright
◁	¥lhd	▷	¥rhd	◁	¥unlhd	▷	¥unrhd
⊕	¥uplus	⊕	¥oplus	⊖	¥ominus	⊗	¥otimes
∕	¥oslash	⊙	¥odot	◯	¥bigcirc	⋅	¥cdot
≦	¥leq	≧	¥geq	⋈	¥prec	⋉	¥succ
≧	¥preceq	⋈	¥succeq	≪	¥ll	≫	¥gg
⊂	¥subset	⊃	¥supset	⊆	¥subseteq	⊇	¥supseteq
⊆	¥sqsubset	⊇	¥sqsupset	⊆	¥sqsubseteq	⊇	¥sqsupseteq
∈	¥in	∋	¥ni	⊖	¥vdash	⊥	¥dashv
≡	¥equiv	≍	¥models	≈	¥sim	⊥	¥perp
≈	¥simeq		¥mid	∞	¥asymp	∥	¥parallel
≈	¥approx	⊗	¥bowtie	≡	¥cong	⊗	¥Join
≠	¥neq	☺	¥smile	≐	¥doteq	☹	¥frown
←	¥leftarrow	⇐	¥longleftarrow	⇐	¥Leftarrow	⇐	¥Longleftarrow
→	¥rightarrow	⇒	¥longrightarrow	⇒	¥Rightarrow	⇒	¥Longrightarrow
↔	¥leftrightarrow	↔	¥longleftrightarrow	↔	¥Leftrightarrow	↔	¥Longleftrightarrow
↦	¥mapsto	↦	¥longmapsto	↩	¥hookleftarrow	↪	¥hookrightarrow
↵	¥leftharpoonup	↶	¥rightharpoonup	↷	¥leftharpoondown	↸	¥rightharpoondown
⇨	¥rightleftharpoons	↷	¥leadsto	↑	¥uparrow	↑	¥Uparrow
↓	¥downarrow	⇩	¥Downarrow	↕	¥updownarrow	↕	¥Updownarrow
↗	¥nearrow	↘	¥searrow	↙	¥swarrow	↖	¥nwarrow
ℵ	¥aleph	′	¥prime	∀	¥forall	∞	¥infty

特殊文字対応表2tex関連

$\hbar$	$\%hbar$	$\emptyset$	$\%emptyset$	$\exists$	$\%exists$	$\square$	$\%Box$
$\imath$	$\%imath$	$\nabla$	$\%nabla$	$\neg$	$\%neg$	$\diamond$	$\%Diamond$
$\jmath$	$\%jmath$	$\surd$	$\%surd$	$\flat$	$\%flat$	$\triangle$	$\%triangle$
$\ell$	$\%ell$	$\top$	$\%top$	$\natural$	$\%natural$	$\clubsuit$	$\%clubsuit$
$\wp$	$\%wp$	$\perp$	$\%bot$	$\sharp$	$\%sharp$	$\diamond$	$\%diamondsuit$
$\Re$	$\%Re$	$\parallel$	$\%parallel$	$\backslash$	$\%backslash$	$\heartsuit$	$\%heartsuit$
$\Im$	$\%Im$	$\angle$	$\%angle$	$\partial$	$\%partial$	$\spadesuit$	$\%spadesuit$
$\Upsilon$	$\%Upsilon$	$\propto$	$\%propto$	$\Sigma$	$\%sum$	$\cap$	$\%bigcap$
$\odot$	$\%bigodot$	$\prod$	$\%prod$	$\cup$	$\%bigcup$	$\otimes$	$\%bigotimes$
$\coprod$	$\%coprod$	$\sqcup$	$\%bigsqcup$	$\oplus$	$\%bigoplus$	$\int$	$\%int$
$\bigvee$	$\%bigvee$	$\uplus$	$\%biguplus$	$\int$	$\%oint$	$\wedge$	$\%bigwedge$
$\{$	$\%{$	$\}$	$\%}$	$\lfloor$	$\%lfloor$	$\rfloor$	$\%rfloor$
$\lceil$	$\%lceil$	$\rceil$	$\%rceil$	$\langle$	$\%langle$	$\rangle$	$\%rangle$
$\alpha$	$\%alpha$	$\beta$	$\%beta$	$\gamma$	$\%gamma$	$\delta$	$\%delta$
$\epsilon$	$\%epsilon$	$\zeta$	$\%zeta$	$\eta$	$\%eta$	$\theta$	$\%theta$
$\iota$	$\%iota$	$\kappa$	$\%kappa$	$\lambda$	$\%lambda$	$\mu$	$\%mu$
$\nu$	$\%nu$	$\xi$	$\%xi$	$\circ$	$\%o$	$\pi$	$\%pi$
$\rho$	$\%rho$	$\sigma$	$\%sigma$	$\tau$	$\%tau$	$\upsilon$	$\%upsilon$
$\phi$	$\%phi$	$\chi$	$\%chi$	$\psi$	$\%psi$	$\omega$	$\%omega$
$\Gamma$	$\%Gamma$	$\Delta$	$\%Delta$	$\Theta$	$\%Theta$	$\Lambda$	$\%Lambda$
$\Xi$	$\%Xi$	$\Pi$	$\%Pi$	$\Sigma$	$\%Sigma$	$\Upsilon$	$\%Upsilon$
$\Phi$	$\%Phi$	$\Psi$	$\%Psi$	$\Omega$	$\%Omega$	$\varepsilon$	$\%varepsilon$
$\vartheta$	$\%vartheta$	$\varpi$	$\%varpi$	$\varrho$	$\%varrho$	$\varsigma$	$\%varsigma$
$\varphi$	$\%varphi$	$\hat{a}$	$\%hat{a}$	$\acute{a}$	$\%acute{a}$	$\bar{a}$	$\%bar{a}$
$\dot{a}$	$\%dot{a}$	$\check{a}$	$\%check{a}$	$\grave{a}$	$\%grave{a}$	$\vec{a}$	$\%vec{a}$
$\ddot{a}$	$\%ddot{a}$	$\breve{a}$	$\%breve{a}$	$\tilde{a}$	$\%tilde{a}$	$\ae$	$\%ae$
$\AE$	$\%AE$	$\oe$	$\%oe$	$\OE$	$\%OE$	$\aa$	$\%aa$
$\AA$	$\%AA$	$\lrcorner$	$\%lrcorner$	$\L$	$\%L$	$\emptyset$	$\%emptyset$
$\O$	$\%O$	$\ss$	$\%ss$	$\i$	$\%i$	$\j$	$\%j$

連合大会(合同大会)開催実績一覧

合同大会より	連合大会	開催年	開催日	開催場所	大会委員長	参加学会
1		1990	4/5-8	東京工業大学		参加学会 5
2		1991	4/2-5	共立女子大学		参加学会 5
3		1992	4/7-10	京都大学	住友 則彦(実行委員長)	参加学会 5 シンポジウム共催学会 3
4		1993	3/19-22	東京都立大学	石川 甲子郎(実行委員長)	参加学会 6 シンポジウム共催学会 6
5		1994	3/20-23	東北大学	青木 謙一郎	参加学会 7 シンポジウム共催学会 6
6		1995	3/27-30	日本大学	長尾 勇	参加学会 8 シンポジウム共催学会 6
7		1996	3/26-29	大阪大学		参加学会 10 シンポジウム共催学会 4
8		1997	3/25-28	名古屋大学	小川 克郎	参加学会 11 シンポジウム共催学会 5
9		1998	5/26-29	オリンピックセンター	河野長	主催共催学会 15
10		1999	6/8-11	オリンピックセンター		主催共催学会 16
11		2000	6/25-28	オリンピックセンター	柳 哮	主催共催学会 17
12		2001	6/4-8	オリンピックセンター	松浦 充宏	主催共催学会 18
13		2002	5/27-31	オリンピックセンター	木村 学	主催共催学会 19
14		2003	5/26-29	幕張メッセ	清水 洋	主催共催学会 19
15		2004	5/9-13	幕張メッセ	平原 和朗	主催共催学会 20 後援学協会 5
16	1	2005	5/22-26	幕張メッセ	浜野 洋三	共催・協賛学会 25 後援学協会 8
17	2	2006	5/14-18	幕張メッセ	津田 敏隆	加盟学会 40 協賛学会 4 後援学協会 8
18	3	2007	5/19-24	幕張メッセ	津田 敏隆	加盟学会 46 協賛学会 4 後援学協会 8
19	4	2008	5/25-30	幕張メッセ	岩上 直幹	加盟学協会 47 協賛学会 4 後援学協会 8
20	5	2009	5/16-21	幕張メッセ	岩上 直幹	学協会長懇談会 48 協賛学協会 4 後援学協会 7
21	6	2010	5/23-28	幕張メッセ	平原 和朗	学協会 48 協賛学協会 4 後援学協会 7
22	7	2011	5/22-27	幕張メッセ	矢ヶ崎 典隆	学協会 48 協賛学協会 4 後援学協会 7
23	8	2012	5/20-25	幕張メッセ	矢ヶ崎 典隆	学協会 48 協賛学協会 4 後援学協会 7
24	9	2013	5/19-24	幕張メッセ	石渡 明	学協会 49 協賛学協会 4 後援学協会 7
25	10	2014	4/28-5/2	パシフィコ横浜	大路 樹生	
26	11	2015	5/24-5/29	幕張メッセ		

## 記念行事参考資料

- ・特別講演、記念シンポジウム
- ・懇親会、祝賀会
- ・功労者表彰、授賞式、受賞講演
- ・記念会誌、記念論文集出版  
記念優秀論文募集と表彰（日本神経回路学会 創立 20 周年記念 2009 年）
- ・学会〇〇年史刊行（情報処理学会 創立 50 周年記念事業 2010 年）
- ・学会アーカイブ（デジタルライブラリー）の編集  
（日本セキュリティ・マネジメント学会 25 周年 2010 年）
- ・記念展示会（研究史と成果）（日本鳥学会 100 周年 2012 年）
- ・記念事業：「社会への提言」発信  
（日本セキュリティ・マネジメント学会 25 周年 2010 年）
- ・記念事業：新プロジェクト『効果的な産学官連携事業の推進』創成  
（繊維学会 創立 70 周年 2014 年）
- ・記念事業の公募  
学会のさらなる発展のために役立つプロジェクト（例えば、人材育成、男女共同参画など）を広く会員から募集し、採択されたプロジェクトに資金を供出する。  
支給額：1 件当たり，一年 100 万円を上限とする。  
支給期間：5 年（初年度は平成 23 年度とする）  
（日本病理学会 100 周年記念 2011 年）

2013/7/30

中村正人

推薦の期間を設け、その間に推薦書を出して貰う

→ 準備委員会でフェローの満たすべき要件の決定、推薦書式の決定

JpGU フェロー審査委員会

→ 理事、セクションからの推薦で5名程度

年間選ぶ数

→ 各セクション、ユニオンで6-7名（全体の0.15%程度、AGUは0.1%）

日程

今年 6月 理事会で準備委員会の設立（確定下表参照）

今年 7-9月 準備委員会でフェロー制度を作り10月毎の理事会で承認

毎年 10月 審査委員会の決定（理事会決定）

毎年 10-12月 推薦期間

毎年 1-3月 審査委員会で審査

毎年 3月の理事会でフェローの承認

毎年 5月の連合大会でフェロー表彰

準備委員会メンバー

宇宙惑星科学	田近 英一	東京大学
固体地球科学	木村 純一	海洋研究開発機構
地球人間圏科学	奥村 晃史	広島大学
大気水圏科学	杉田 倫明	筑波大学
地球生命科学	西 弘嗣	東北大学
理 事	中村 正人	宇宙航空研究開発機構
	古村 孝志	東京大学
	Simon Wallis	名古屋大学
	成瀬 元	京都大学

【参考資料】

Join AGU | Member Login | Donate | Media Kits | Contact Us | Google Custom Search | Search Publications



Home | About | Membership | Leadership | Honors Program | Publications | Meetings | Education | Science Policy | Career Center | News Room

Sections and Focus Groups

- Honors Program
  - Conflict of Interest Policy
  - Union Awards, Medals, & Prizes
  - Union Fellows**
    - Fellows Nomination Criteria
    - Fellows Nomination Timeline
    - Frequently Asked Questions
    - Fellows Alphabetical list
    - Class of 2012
  - Section & Focus Group Awards
  - Bowie Lectures
  - Research Grants

Home » Honors Program » Union Fellows

## UNION FELLOWS

To be elected a Fellow is a special tribute for those who have made exceptional scientific contributions. Nominated fellows must have attained acknowledged eminence in the Earth and space sciences. Primary criteria for evaluation in scientific eminence are major breakthrough/discovery and paradigm shift. This designation is conferred upon not more than 0.1% of all AGU members in any given year. New Fellows are chosen by a Committee of Fellows.

**The submission deadline for 2013 nominations has passed.**

### CLASS OF 2012 FELLOWS



These 61 individuals have been elected as the 2012 class of Fellows and were recognized during the Honors Ceremony at the 2012 AGU Fall Meeting, held on 5 December in San Francisco, Calif.

[VIEW 2012 FELLOWS](#)

### 2013 NOMINATIONS

The submission deadline for 2013 nominations has passed. To learn more about the Fellows nomination process, please visit the links below.

- [Nomination Criteria](#)
- [Nomination Timeline](#)
- [Frequently Asked Questions](#)

### Fellows Search

Name:

Year Elected:

Section/Focus Group:

Institution:   
Class of 2011 and later

Country:

[SUBMIT](#) • [View All Fellows](#) • [View 2012 Fellows](#)

- [Alphabetical List of All Fellows](#)



### CONFLICT OF INTEREST POLICY

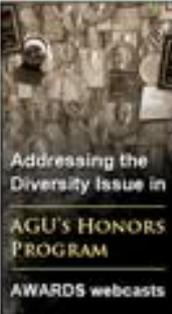


2012 News Coverage

### AGU

American Geophysical Union

VIDEO COVERAGE



Addressing the Diversity Issue in

### AGU'S HONORS PROGRAM

AWARDS webcasts

Union Awards, Medals, and Prizes Contact

Elizabeth E. Paredes  
Assistant Director, Executive Operations and Awards Administration  
Phone: +1 202 777 7500  
E-mail: [unionhonors@agu.org](mailto:unionhonors@agu.org)

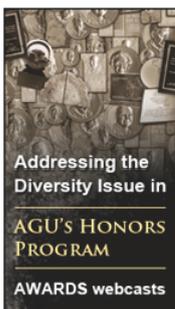
Leah Bland  
Administrative Assistant, Executive Office  
Phone: +1 202 777 7389  
E-mail:



**Sections and Focus Groups** »

**Honors Program**

- Conflict of Interest Policy
- Union Awards, Medals, & Prizes
- Union Fellows
  - Fellows Nomination Criteria
  - Fellows Nomination Timeline
  - Frequently Asked Questions
  - Fellows Alphabetical list
  - Class of 2012
- Section & Focus Group Awards
- Bowie Lectures
- Research Grants



**Union Awards, Medals, and Prizes Contact**

**Elizabeth E. Paredes**  
 Assistant Director, Executive Operations and Awards Administration  
 Phone: +1 202 777 7500  
 E-mail: [unionhonors@agu.org](mailto:unionhonors@agu.org)

**Leah Bland**

Administrative Assistant, Executive Office  
 Phone: +1 202 777 7389  
 E-mail: [unionhonors@agu.org](mailto:unionhonors@agu.org)

**Union Fellows Contact**

**Danica Williams**  
 Program Manager, Member Relations  
 Phone: +1 202 777 7513  
 E-mail: [unionfellows@agu.org](mailto:unionfellows@agu.org)

|

[Home](#) » [Honors Program](#) » [Union Fellows](#) » Fellows Nomination Criteria

## Fellows Nomination Criteria

### Nominations for AGU Fellows

The Fellows program recognizes AGU members who have made exceptional contributions to Earth and space sciences as valued by their peers and vetted by section and focus group committees. Election is by a committee of Fellows. To qualify, the nominee must have attained acknowledged eminence in the Earth and space sciences. Primary criteria for evaluation in scientific eminence are major breakthrough/discovery and paradigm shift. This honor may be bestowed on only 0.1% of the membership in any given year.

Before you start the submission process, please carefully review the guidelines for submitting an AGU Fellow nomination.

#### 2013 Timeline for AGU Fellows Nominations: 15 January–31 March 2013

The submission deadline for 2013 nominations has passed. AGU will announce the 2013 class of Fellows in July 2013.

#### Membership Eligibility

A nominee must have been an active AGU member for each of the 3 years immediately prior to the nomination. Active membership simply refers to the renewal of AGU membership for the past three consecutive years. For example, if a member joined AGU in 2010 and has renewed his or her AGU membership, each year, through 2013, he or she is eligible for consideration during the 2013 Fellows nomination process.

To verify the year in which a candidate joined AGU or to determine their member status, please view the Membership Directory via the [AGU Member eWeb Portal](#); or contact the Member Services staff at: [service@agu.org](mailto:service@agu.org).

#### NEW Nomination Eligibility

**1. Ineligible Nominees.** The following individuals and/or groups are not eligible to be candidates for Union Fellows during their terms of service:

- [AGU President](#);
- [AGU President-elect](#);
- [Council Leadership Team](#) members;
- [Honors and Recognition Committee](#) members;
- [Section and Focus Group presidents and president-elects](#); and
- [Union Fellows Committee](#) members are ineligible to be Fellows candidates. Section/Focus Group Fellows Committee members are ineligible to be candidates for consideration by their respective section/focus group.

**2. Relationship to a Fellows Nominee.** AGU policy on the relationship to a nominee is applicable to committee members, nominators, and supporters.

The following relationships need to be *identified and communicated* to Fellows selection committees, but *will not disqualify* individuals from participating in the nomination or committee review process:

- Current dean, departmental chair, supervisor, supervisee, laboratory director, an individual with whom one has a current business or financial relationship (e.g., business partner, employer, employee);
- Research collaborator or co-author within the last three years; and/or
- An individual working at the same institution or having accepted a position at the same institution.

Individuals with the following relationships are disqualified from participating in the Fellows nomination or committee review process (i.e., nominator, supporter, or committee member):

- A previous doctoral or graduate advisor, graduate student, or postdoctoral fellow may not write a **nomination letter** but may write a **supporting letter** after five years of terminating their relationship with the nominee beginning on 1 January after the year the relationship was terminated. Termination of a relationship is defined as follows:
  - nominee no longer being paid by supporter
  - nominee no longer supported under the same grant or contract
- Family member, spouse, or partner;
- [AGU President](#);
- [AGU President-elect](#);



**Winner Login**

Username   
 Password   
 Remember Me

- [Council Leadership Team](#) members;
- [Honors and Recognition Committee members](#);
- [Section and Focus Group presidents and president-elects](#); and
- Nominator/supporter should not be a member on the [Union Fellows Committee](#) or any Section or Focus Group Selection committee that will review the candidate(s).

For more details, please review the [AGU conflict of interest policy](#).

**3. Additional Conflicts.** Members of Fellows selection committees may, for other reasons, determine that they have conflicts – or potential conflicts – that require elimination from service and then act on that determination if they believe that service could affect the fairness of the selection process.

### Nomination Requirements

Nominators must provide the following information:

1. The nominee's AGU join date (year);
2. The nominee's primary section or focus group affiliation; and
3. The nominee's Hirsch index (i.e., h-index) score. Please note that the h-index is required, but plays only a secondary role in evaluation. [ISI Web of Knowledge](#) is a recommended resource.

To verify a nominee's join date and primary affiliation, please view the Membership Directory via the [AGU Member eWeb Portal](#); or contact the Member Services staff at: [service@agu.org](mailto:service@agu.org).

Your nomination package should contain the following files, which should be **no more than two (2) pages in length per document**:

1. **Nomination letter with one-sentence citation** (i.e., citation should be 150 characters or less). Letterhead stationary is preferred. Nominator's name, title, institution, and contact information are required.;
2. **Nominee's curriculum vitae.** List the candidate's (1) name, (2) mailing and e-mail address, (3) history of employment, (4) degrees, (5) research experience, (6) honors, (7) memberships, and (8) service to the community through committee work, advisory boards, etc.
3. **Nominee's selected bibliography.** Briefly state the total number and types of publications and specifying the number published in AGU publications. For example: *Jane Doe is the author of 92 publications, 86 in peer-reviewed scientific journals, 14 of which have been published in AGU journals and books. The following selected list best supports Jane's nomination for AGU Fellow.*
4. **A minimum of 3 but no more than 5 letters of support** (total does not include nomination letter). Letterhead stationary is preferred. Supporter's name, title, institution, and contact information are required.
5. **SUBMISSIONS SENT VIA POSTAL OR COURIER DELIVERY ONLY: Nomination cover sheet** – All packages sent via mail or courier delivery should include a completed cover sheet. (The online submission system will generate a cover sheet for nominators.)

Please note that only complete packages will be forwarded to Section and Focus Group Fellows committees for review. For detailed information on nomination requirements, please view the AGU Fellows [frequently asked questions \(FAQ\) section](#).

### Nomination Submissions

Fellows nominations can be submitted (1) online or (2) by regular mail delivery. However, to expedite the submission process, please use the online submission system. If you have submitted a package online, then please **do not** send a printed version to AGU headquarters.

## 国内出張旅費規則

### (趣旨)

第1条 この規則は、公益社団法人日本地球惑星科学連合（以下、「連合」という。）の役員、委員及び職員、並びに連合が依頼した者の国内の出張旅費を定めるものである。

### (旅費の構成)

第2条 旅費は、交通費、日当及び宿泊費を支給する。

- 2 「科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究成果公開促進費）国際情報発信強化（オープンアクセス刊行支援）」に係る事業のための旅費については、第3条から第8条の定めにも拘わらず、「東京大学旅費支給要領」の定に基づいて計算した額を支給するものとする。

### (交通費)

第3条 交通費は、公共交通機関を利用する場合に支給するものとし、原則として鉄道の旅客運賃、特急料金および指定席料金並びに船舶の旅客運賃を、路程に応じて支給する。

- 2 鉄道の特急料金および指定席料金は、特急を運行する路線で、片道 100km 以上を旅行する場合に支給することができる。
- 3 第1項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、航空機の旅客運賃の実費を支給することができる。
  - (1) 片道 1,000km 以上を旅行する場合
  - (2) 移動時間が片道4時間を超える場合
  - (3) 業務上必要と認める場合

### (日当)

第4条 日当は、次の各号により支給する。

- (1) 日当は、片道 100km を旅行する場合に支給する。
- (2) 日当は、日額 2,000 円とし、宿泊しない日はその半額とする。

### (宿泊費)

第5条 宿泊費は実費を支給し、その上限額を別途定める。

- 2 この規則により難しい場合は、事前に事務局との協議により決定した額を支給する。

### (パック料金の取扱い)

第6条 交通費と宿泊費が一体になったチケットを利用する旅行等では、当該料金を交通費と宿泊費の支給額とする。

(日当、宿泊費の辞退)

第7条 出張者が日当又は宿泊費の受領を辞退した場合には、当該経費は支給しない。

(大会の例外事項)

第8条 日本地球惑星科学連合大会への参加には、連合の職員及び連合が依頼した者以外には出張旅費を支給しない。

(規則の改廃)

第9条 この規則の改廃は、理事会の議を経て行う。

附則

1. 宿泊費の上限は、「東京大学旅費支給要領」の国内旅費・宿泊料のうち教職員（役員、副理事、教授、准教授及び部長以外のもの）の額の定めとする。
2. 本規則は2012年12月26日より施行する。

附則

第2条に第2項を追加する改正については、2013年7月〇〇日より施行する。

## 外国出張旅費規則

### (趣旨)

第1条 この規則は、公益社団法人日本地球惑星科学連合（以下、「連合」という。）の役員、委員及び職員、並びに連合が依頼した者が連合の用務で外国出張する場合の旅費を定めるものである。

### (旅費の構成)

第2条 旅費は、交通費、日当、及び宿泊費を支給する。

2 「科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究成果公開促進費）国際情報発信強化（オープンアクセス刊行支援）」に係る事業のための旅費については、第3条から第7条の定めに基づいて計算した額を支給するものとする。

### (交通費)

第3条 交通費は、原則として、鉄道、船舶、航空機、車の旅客運賃とその付属料金（特急料金、寝台料金等）を実費支給する。

2 航空運賃はエコノミー・ディスカウントクラス相当を基本とする。ただし、会長が必要と認めた場合にはビジネス・ディスカウントクラス相当を支給することができる。

### (日当)

第4条 日当は、日額4,000円とする。

### (宿泊費)

第5条 宿泊費は実費を支給し、その上限額を別途定める。

2 この規則により難しい場合は、事前に事務局との協議により決定した額を支給する。

### (日当、宿泊費の辞退)

第6条 出張者が日当又は宿泊費の受領を辞退した場合には、当該経費は支給しない。

### (規則の改廃)

第7条 この規則の改廃は、理事会の議を経て行う。

### 附則

1. 宿泊費の上限は、「東京大学旅費支給要領」の外国旅費・宿泊料のうち教職員（役員、副理事、教授、准教授及び部長以外のもの）の額の定めとする。

2. 本規則は2012年12月26日より施行する。

附則

第2条に第2項を追加する改正については、2013年7月〇〇日より施行する。

## 東京大学旅費規程

(平成16年4月1日東大規則第180号)

改正 平成17年2月8日東大規則第289号

改正 平成20年3月25日東大規則第93号

改正 平成21年3月26日東大規則第88号

### (目的)

第1条 この規程は、国立大学法人東京大学（以下「大学法人」という。）の業務のために大学法人の役員及び教職員（以下「役職員」という。）並びに大学法人の依頼を受けた役職員以外の者が行う旅行（以下「出張」という。）に要する旅費並びに役職員の採用又は配置換等に伴う旅行（以下「赴任」という。）に要する旅費に関して必要な事項を定めることを目的とする。

### (出張命令等)

第2条 前条に規定する出張（赴任を含む。次項を除き、以下同じ。）は、総長又はその委任を受けた者（以下「出張命令権者」という。）による役職員への出張命令又は役職員以外の者への出張依頼（以下「出張命令等」という。）によって行われなければならない。変更（取消しを含む。）する場合も同様とする。

2 出張を行った者は、出張完了後別に定める期間内に出張報告をしなければならない。

### (旅費の種類)

第3条 旅費の種類は、交通費、日当、宿泊料、食卓料、移転料、着後手当、扶養親族移転料、及び旅行雑費とする。

2 交通費は、路程に応じ支給する。

3 日当は、日数に応じ1日当りの定額により支給する。

4 宿泊料は、夜数に応じ1夜当りの定額により支給する。

5 食卓料は、水路旅行中の夜数に応じ1夜当りの定額により支給する。

6 移転料は、住所等の移転について、路程等に応じ定額により支給する。

7 着後手当は、住所等の移転について、定額により支給する。

8 扶養親族移転料は、扶養親族の移転について、支給する。

9 旅行雑費は、外国出張に伴う雑費について、実費額により支給する。

### (旅費の計算)

第4条 旅費は、原則として勤務地から用務地までの最も合理的な経路及び方法により計算する。ただし、これにより難しい場合は、実際に利用した経路及び方法により計算する。

(旅費の請求及び精算)

第5条 旅費の支給を受けようとする者は、原則として出張完了後、別に定める請求書に必要な資料を添えて請求しなければならない。ただし、特に必要がある場合には、出張開始前に請求することができる。

2 前項ただし書により旅費の支給を受けた者は、出張完了後別に定める期間内に旅費の精算をしなければならない。

(旅費の調整)

第6条 出張の性質上特に必要がある場合又は特別の事情があると認められる場合には、旅費を調整して支給することができる。

(実施規定)

第7条 この規程に定めるもののほか、旅費の支給に関して必要な事項は東京大学旅費支給要領で定める。

(適用除外)

第8条 東京大学教員の就業に関する規程（平成16年東大規則第16号）第12条第2項、第3項及び第4項に基づく研修のための旅行については、この規程は適用しない。

附 則

1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。

2 この規程の施行日前において、施行日以降にわたる出張命令等を受けた者に支給する旅費については、なお従前の例による。

# 東京大学旅費支給要領

(平成21年3月31日東大調調発第71号)

## 目次

- 第1章 総則 (第1条-第5条)
- 第2章 国内旅費 (第6条-第11条)
- 第3章 外国旅費 (第12条-第16条)
- 第4章 近距離旅費 (第17条・第18条)
- 第5章 赴任旅費 (第19条-第22条)
- 第6章 雑則 (第23条-第29条)
- 附則

## 第1章 総則

### (目的)

第1条 この要領は、東京大学旅費規程 (以下「規程」という。) 第7条に基づき、旅費の支給に関して必要な事項を定めることを目的とする。

### (旅費の区分)

第2条 旅費は、次の各号のとおり区分する。

- (1) 国内旅費 国内の出張に要する旅費 (近距離旅費を除く。)
- (2) 外国旅費 外国へのお出張、外国からの出張及び外国間のお出張に要する旅費
- (3) 近距離旅費 国内のお出張のうち宿泊を要しないものであって、本郷キャンパス、駒場キャンパス、白金地区及び中野地区 (以下「本郷キャンパス等」という。) を出発又は到着する出張にあっては別表1の市区町村を到着地又は出発地とするもの、柏キャンパスを出発又は到着する出張にあっては別表2の市区町村を到着地又は出発地とするもの、それ以外にあっては片道の鉄道の線路の距離が50km未満のものに要する旅費
- (4) 赴任旅費 赴任 (住所又は居所の移転を伴うものに限る。以下同じ。) に要する旅費

### (出張命令等)

第3条 出張 (赴任を含む。以下この章及び第6章において同じ。) 者又は出張を依頼する者が別紙様式1のお出張 (命令・依頼) 申請書を出張命令権者に提出し、その承認を受けた場合は、規程第2条第1項に規定する出張命令又は出張依頼が発せられたものとみなす。

- 2 規程第2条第2項に規定する期間は、出張の完了した日の翌日から起算して2週間とする。
- 3 規程第2条第2項に規定する出張報告の様式は、別紙様式2とする。
- 4 近距離旅費の支給にあっては、第1項に規定する申請書の提出及び規程第2条第2項に規定する出張報告を省略することができる。

### (旅費の請求・精算等)

第4条 規程第5条第1項に規定する請求書の様式は、別紙様式3から別紙様式7までとする。

2 規程第5条第1項に規定する請求書に添付すべき資料は、別表3及び別表5に掲げる資料、第8条及び第15条に規定する費用で、現に支払った額を証明できるもの（領収書等）並びに次に掲げる資料とする。

(1) 外国旅費については、毎日の行程、利用した交通機関の路線名及び発着時刻等を記した日程表

(2) 赴任旅費については、別紙様式8の移転通知書及び住民票

3 規程第5条第2項に規定する期間は、出張の完了した日の翌日から起算して2週間とする。

4 規程第5条第2項の規定による精算の結果、過払金があった場合は、当該過払金を返納しなければならない。

(日当及び宿泊料の減額)

第5条 出張者が同一市区町村（外国にあってはこれに準ずる地域）に滞在する場合の日当及び宿泊料は、到着した日の翌日から起算して30日を超える日数について定額の10分の1、60日を超える日数について定額の10分の2に相当する額を減額する。

## 第2章 国内旅費

(国内旅費)

第6条 国内旅費は、別表3に掲げる交通費、日当、宿泊料及び食卓料を支給する。

(国内旅費の計算)

第7条 交通費は、原則として、勤務地又は用務地のある市区町村内の主要な鉄道駅を出発地又は到着地として計算する。ただし、当該市区町村内に鉄道駅がない場合は、最寄りのバス停とする。

2 前項の規定にかかわらず、本郷キャンパス等を出発又は到着する出張にあってはJR東京駅を、柏キャンパスを出発又は到着する出張にあっては柏の葉キャンパス駅を、それぞれ出発地又は到着地とする。

(国内旅費の宿泊料・食卓料・航空賃の特例)

第8条 あらかじめ宿泊施設の指定がある場合等やむを得ない事情により、宿泊料定額を超過する場合には、現に支払った額を上限とし、出張命令権者が適当と認めた額を支給することができる。

2 出張の際に、旅行会社による往復の交通費と宿泊費（夕食代を含まないもの）をあわせて料金設定しているもの（以下「ビジネスパック」という。）を利用した場合は、1夜につき別表3に掲げる食卓料に相当する額を支給することができる。

3 国内航空機の特別座席（ファーストクラスを除く。）の料金を含む旅客運賃が、通常の旅客運賃よりも安価な場合は、当該料金を含む旅客運賃を航空賃とし、また、特別座席の料金を含むビジネスパック料金の額が、通常の旅客運賃と宿泊料定額の合計額よりも安価な場合は、当該料金を含むパック料金の額を航空賃と宿泊料の合計額として、支給することができる。

4 発券手数料、手配手数料、配送料その他出張に伴う諸経費については、交通費に含めるものとする。

(近距離旅費の範囲で宿泊する場合の旅費)

第9条 近距離旅費を支給する地域内で宿泊する場合の旅費は、第17条に規定する交通費及び宿泊料定額を支給する。

(同一市区町村内の国内旅費)

第10条 同一市区町村（東京都においては特別区）内における移動に伴う交通費は、支給しない。

(日額旅費)

第11条 巡察その他これに類する目的の出張は、規程第3条第1項に規定する旅費に代え、別表4に掲げる日額旅費を支給する。

2 前項により宿泊する場合に支給する日額旅費の支給期間は、用務地に到着した日の翌日から用務地を出発した日の前日までとする。

### 第3章 外国旅費

(外国旅費)

第12条 外国旅費は、別表5に掲げる交通費、日当、宿泊料及び食卓料並びに旅行雑費を支給する。

2 日当及び宿泊料の区分のうち、欧米及び中近東地区とは、次の各号の地域のことをいい、その他地方とは、それ以外の地域のことをいう。

(1) 北米地域（国家公務員等の旅費支給規程（昭和25年大蔵省令第45号。以下「国の規程」という。）第17条第1号の地域）

(2) 欧州地域（国の規程第17条第2号の地域）のうち、アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、カザフスタン、キルギス、グルジア、クロアチア、コソボ、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア、ベラルーシ、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア及びロシア（モスクワを除く。）を除いた地域

(3) 中近東地域（国の規程第17条第3号の地域）

(4) アジア地域（国の規程第17条第4号の地域）のうち、シンガポール

(5) アフリカ地域（国の規程第17条第7号の地域）のうち、アビジャン

(外国旅費の計算)

第13条 交通費の計算は、第7条に規定する国内旅費の交通費の計算方法を準用する。

2 外貨建の旅費については、東京大学出納管理事務取扱要領第5条第2項により計上された

邦貨金額を支給する。

(外国旅費の宿泊料の特例)

第14条 業務の都合又は現地の事情等により、宿泊料定額を超過する場合には、宿泊料定額の2倍を限度に、現に支払った額を宿泊料として支給することができる。

2 あらかじめ宿泊施設の指定がある場合等やむを得ない事情により、宿泊料定額の2倍を超過する場合には、現に支払った額を上限とし、出張命令権者が適当と認めた額を支給することができる。

(旅行雑費)

第15条 旅行雑費の額は、出張者の予防注射料、旅券の交付手数料及び査証手数料(査証を取得する場合の代行手数料を含む。)、外貨交換手数料、入出国税、空港を利用する場合の旅客サービス施設使用料並びに発券手数料、手配手数料、配送料等の出張に伴う諸経費とする。

(同一地域内の外国旅費)

第16条 外国の同一地域(国内の市区町村に準ずるもの)内における移動に伴う交通費は、支給しない。

#### 第4章 近距離旅費

(近距離旅費)

第17条 近距離旅費は、実際に利用した経路の交通費(役職員については、通勤区間を除いた費用とする。)を支給する。

2 大学法人の所有する回数券、バスカード、Suica、PASMO等を使用した場合は、当該使用区間の交通費は支給しない。

(近距離旅費の請求)

第18条 近距離旅費の請求は、原則として1月分をまとめて行うものとする。

2 請求書の提出にあたっては、役職員は予算責任者等及び勤務時間管理員、役職員以外の者は予算責任者等の確認を受けるものとする。

#### 第5章 赴任旅費

(赴任旅費)

第19条 赴任旅費は、第2章及び第3章に掲げるもののほか、別表6に掲げる移転料、着後手当及び扶養親族移転料を支給する。

(移転料の額)

第20条 赴任の際扶養親族を移転する場合の移転料の額は、旧勤務地から新勤務地までの路

程に応じた額とする。ただし、赴任に伴う実際の移転の路程が旧勤務地から新勤務地までの路程に満たない場合には、その実際の路程に応じた移転料の額とする。

- 2 外国からの移転に伴う家財の積込みに利用する港又は家財を輸送する陸路の距離が別表 7 に掲げる場合の移転料の額は、別表 6 に掲げる移転料定額にそれぞれの区分に応じた割合を乗じて得た額を加算した額とする。
- 3 赴任の際扶養親族を移転しない場合の移転料の額は、前 2 項に規定する額の 2 分の 1 に相当する額とする。
- 4 赴任の際扶養親族を随伴しないが、赴任を命ぜられた日の翌日から 1 年以内に扶養親族を移転する場合の移転料の額は、当該扶養親族を随伴して勤務地へ赴任したものとみなした額から、支給済みの移転料の額を差し引いた額による。

#### (扶養親族移転料の支給)

第 2 1 条 扶養親族移転料は、次の各号に該当する場合に支給する。

- (1) 扶養親族を旧勤務地から新勤務地まで随伴するとき。
- (2) 赴任を命ぜられた日の翌日から 1 年以内に扶養親族を勤務地に呼び寄せるとき。

#### (赴任旅費の特例)

第 2 2 条 同一市区町村(東京都においては特別区)内における赴任に伴う旅費は支給しない。

## 第 6 章 雑則

#### (役職員以外の者に対する旅費の支給区分)

第 2 3 条 役職員以外の者に対して支給する旅費については、用務の内容、出張依頼を受けた者の学識経験、社会的地位等を考慮し、役職員との均衡を勘案して、出張命令権者が同等と認めた役職員相当の支給区分による。

#### (招へい者に対する特例)

第 2 4 条 国際会議等で海外から特に招へいする学識経験者に対する旅費の支給にあたっては、次の各号によることができるものとする。

- (1) 招へい者が国内に宿泊する場合の日当及び宿泊料の額は、外国旅費の支給区分における教職員の欧米及び中近東地区の単価を適用すること。
- (2) 航空賃の請求にあたっては、当該招へいを担当する教職員により招へい者の出入国に関する報告がなされた場合には、搭乗を証明する書類の提出は要しないこと。

#### (私事旅行を含む出張)

第 2 5 条 出張における用務地での業務期間の前後に私事旅行がある場合は、事前に出張命令権者の承認を得ることにより、当該用務に係る往復の交通費を支給することができる。

#### (旅費の調整)

第26条 他の法人等から旅費が支給される場合は、当該支給額に相当する旅費を支給しないものとする。

2 あらかじめ宿泊施設の指定がある場合で、当該宿泊施設が大学、国及び地方公共団体等の公用の施設であるときの宿泊料の額は、宿泊料定額の2分の1とする。ただし、これにより難しい場合は、第8条第1項の規定を準用することができる。

3 共同利用研究所等の宿泊施設を利用する出張で、別表8に定めがある場合はこれによる。

4 前3項に掲げるもののほか、出張の性質上特に必要がある場合又は出張命令権者が特別の事情があると認めた場合は、日当、宿泊料及び食卓料を調整することができる。

(旅費の支払方法の特例)

第27条 交通費及び宿泊料について、旅行代理店等を利用し当該出張のための乗車券等を取得又は宿泊施設を手配した場合には、出張者本人の請求によらず旅行代理店等の請求に基づき支払いをすることができるものとする。

(旅費支出の事業年度区分の特例)

第28条 出張期間が2事業年度にわたる場合、翌年度にかかる期間が7日以内の出張に限り、当該出張期間の旅費を出張開始前に支出することができる。

(改廃)

第29条 この要領の改廃は、財務部長が行う。

附 則

- 1 この要領は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 東京大学旅費要領（平成16年4月1日制定）は、廃止する。

附 則

この要領は、平成22年4月1日から施行する。

別表 1 (近距離旅費を支給する範囲 本郷キャンパス、駒場キャンパス、白金地区、中野地区)

本郷キャンパス、駒場キャンパス、白金地区、中野地区から近距離旅費を支給する市区町村一覧	
東京都	奥多摩町、檜原村及び伊豆諸島、小笠原諸島を除く全市区町村
埼玉県	上尾市、朝霞市、伊奈町、入間市、桶川市、春日部市、加須市、川口市、川越市、川島町、北本市、久喜市、鴻巣市、越谷市、さいたま市、坂戸市、幸手市、狭山市、志木市、白岡町、杉戸町、草加市、鶴ヶ島市、所沢市、戸田市、新座市、蓮田市、鳩ヶ谷市、鳩山町、飯能市、東松山市、日高市、富士見市、ふじみ野市、松伏町、三郷市、宮代町、三芳町、毛呂山町、八潮市、吉川市、吉見町、和光市、蕨市
千葉県	我孫子市、市川市、市原市、印西市、浦安市、大網白里町、柏市、鎌ヶ谷市、木更津市、君津市、栄町、佐倉市、酒々井町、白井市、袖ヶ浦市、千葉市、東金市、富里市、長柄町、流山市、習志野市、成田市、野田市、富津市、船橋市、松戸市、茂原市、八街市、八千代市、四街道市
茨城県	牛久市、河内町、五霞町、境町、常総市、つくば市、つくばみらい市、利根町、取手市、坂東市、守谷市、龍ヶ崎市
神奈川県	愛川町、厚木市、綾瀬市、伊勢原市、海老名市、鎌倉市、川崎市、清川村、相模原市、座間市、寒川町、逗子市、茅ヶ崎市、葉山町、平塚市、藤沢市、大和市、横須賀市、横浜市

別表 2 (近距離旅費を支給する範囲 柏キャンパス)

柏キャンパスから近距離旅費を支給する市区町村一覧	
東京都	東京 23 区、稲城市、清瀬市、国立市、小金井市、国分寺市、小平市、狛江市、立川市、調布市、西東京市、東久留米市、東村山市、東大和市、府中市、三鷹市、武蔵野市
埼玉県	上尾市、朝霞市、伊奈町、入間市、桶川市、春日部市、加須市、川口市、川越市、川島町、北本市、行田市、久喜市、鴻巣市、越谷市、さいたま市、坂戸市、幸手市、狭山市、志木市、白岡町、杉戸町、草加市、鶴ヶ島市、所沢市、戸田市、新座市、蓮田市、鳩ヶ谷市、羽生市、東松山市、日高市、富士見市、ふじみ野市、松伏町、三郷市、宮代町、三芳町、八潮市、吉川市、吉見町、和光市、蕨市
千葉県	我孫子市、市川市、市原市、印西市、浦安市、大網白里町、柏市、香取市、鎌ヶ谷市、神崎町、栄町、佐倉市、山武市、酒々井町、芝山町、白井市、袖ヶ浦市、多古町、千葉市、東金市、富里市、流山市、習志野市、成田市、野田市、船橋市、松戸市、八街市、八千代市、横芝光町、四街道市
茨城県	阿見町、石岡市、潮来市、稲敷市、牛久市、小美玉市、かすみがうら市、河内町、古河市、五霞町、境町、桜川市、下妻市、常総市、筑西市、つくば市、つくばみらい市、土浦市、利根町、取手市、行方市、坂東市、美浦村、守谷市、八千代町、結城市、龍ヶ崎市
神奈川県	川崎市、横浜市
栃木県	小山市、栃木市、野木町、真岡市
群馬県	板倉町、館林市、明和町

別表 3 (国内旅費)

区 分	役 員	教職員		請求書に添付すべき資料		
		副理事、教授、 准教授及び部長	左以外の者			
交 通 費	鉄道賃	運賃				
		(特別) 急行料金				
		座席指定料金				
		特別車両 料金				
	航空賃		現に支払った旅客運賃		支払いを証明できる書類(領収書等)及び搭乗を証明できる書類(半券等)	
	船 賃	運 賃	3階級 に区分	上級の運 賃	上級の直近下級の運賃	
			2階級 に区分	上級の運 賃	下級の運賃	
			等級な し	乗船に要する運賃		
			寝台料金			
			座席指定料金			
		特別船室 料金				
車賃		路線バスの実費額				
日当(1日について)	3,000円	2,600円	2,300円			
宿泊料(1夜について)	14,000円	13,100円	10,500円	定額を超える場合は、支払いを証明できる書類(領収書等)及び必要理由を記した文書		
食卓料(1夜について)	3,000円	2,600円	2,300円	別に食費を要することを証明できるもの		

## 備考

- 1 鉄道賃の(特別)急行料金、座席指定料金又は特別車両料金は、当該料金のかかる列車の乗車距離が一区間50km以上のものに限り支給する。
- 2 役員に随行する者には、鉄道賃の特別車両料金を支給することができる。

別表 4 (日額旅費)

区 分	演習林の巡回、作業等に 従事する者	乗鞍観測所における観測 等に従事する者
日帰りの場合(1日につき)	2,650円	2,300円
宿泊する場合(1夜につき)	2,065円	4,900円

## 備考

乗鞍観測所における観測等に従事する者で、別表8に基づき旅費を支給される者については、本表は適用しない。

別表5 (外国旅費)

区 分			役 員	教職員		請求書に添付すべき資料		
				副理事、教授、 准教授及び部長	左以外の 者			
交 通 費	鉄 道 賃	運 賃	3 階 級 以 上 に 区 分	最上級の 運賃	最上級の直近下位の級の運 賃		運賃の等級及び支払いを証明 できる書類 (領収書等)	
			2 階 級 に 区 分	最上級の運賃			同上	
			等級なし	乗車に要する運賃			支払いを証明できる書類 (領収 書等)	
					急行料金		同上	
					特別座席 のために 現に支払 った運賃			業務上必要であることを証明 できる書類及び支払いを証明 できる書類 (領収書等)
					寝台料金		同上	
	船 賃	運 賃	3 階 級 以 上 に 区 分	最上級の 運賃	最上級の直近下位の級の運 賃		運賃の等級及び支払いを証明 できる書類 (領収書等)	
			2 階 級 に 区 分	最上級の運賃			同上	
			等級なし	乗船に要する運賃			支払いを証明できる書類 (領収 書等)	
					特別船室 のために 現に支払 った運賃			業務上必要であることを証明 できる書類及び支払いを証明 できる書類 (領収書等)
					寝台料金		同上	
	航 空 賃	運 賃	3 階 級 以 上 に 区 分	最上級の 運賃	最上級の直近下 位の級の運賃	左の直近 下位の級 の運賃	運賃の等級、支払いを証明でき る書類 (領収書等) 及び搭乗を 証明できる書類 (半券等)	
			2 階 級 に 区 分	上級の運賃		下級の運 賃	同上	
等級なし			航空機の利用に要する運賃			支払いを証明できる書類 (領収 書等) 及び搭乗を証明できる書 類 (半券等)		
			特別座席 のために 現に支払 った運賃			業務上必要であることを証明 できる書類及び支払いを証明 できる書類 (領収書等)		
車賃			実費額		支払いを証明できる書類 (領収 書等)			
日 当	欧米及び中近東地 区		7,500 円	6,000 円				
	その他地方		5,500 円	4,500 円				
宿 泊 料	欧米及び中近東地 区		28,000 円	23,000 円		定額を超える場合は支払いを 証明できる書類 (領収書等)、 定額の2倍を超える場合は、さ らに必要理由を記した文書		
	その他地方		16,000 円	13,000 円		同上		
食卓料 (1夜について)			7,700 円	6,100 円		別に食費を要することを証明 できるもの		

## 備考

- 1 特別座席又は特別船室のために現に支払った運賃は、業務上の必要による場合に限るものとする。
- 2 鉄道賃の寝台料金を支給する場合の宿泊料の額は、食卓料に相当する額とする。
- 3 教職員（ただし、副理事、教授、准教授及び部長を除く。）による長時間にわたる航空路による旅行で、次の各号に掲げるものの航空賃については、運賃の等級を3階級以上に区分されているものは最上級の直近下級、2階級に区分されているものは上級の運賃とすることができる。
  - (1) 本邦と次の地域を除いた地域との間の航空旅行  
インドネシア、ベトナム、カンボジア、北朝鮮、シンガポール、タイ、大韓民国、台湾、中華人民共和国、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、ラオス、ハワイ諸島、グアム、ウラジオストク、ハバロフスク及びユジノサハリンスク
  - (2) 前号以外の場合において、一の旅行区間における所要航空時間が8時間以上のもの
  - (3) 一の旅行区間における所要航空時間が24時間以上のもの（乗り継ぎ回数及びそれに要する時間を勘案すること）
- 4 役員に随行する者が航空機を利用する場合及び役員に相当する者又は役員の代理（発令行為を伴うものに限る。）として業務のために航空機を利用する場合には、役員と同一の級の航空賃の運賃とすることができる。
- 5 船舶又は航空機を利用した場合（外国を出発した日及び外国に到着した日を除く。）の日当の額は、その他地方の額とする。

## 別表 6

## 移転料

(国内旅費)

移転距離	支給額
鉄道 50 km 未満	99,000 円
鉄道 50 km 以上～100 km 未満	114,000 円
鉄道 100 km 以上～300 km 未満	141,000 円
鉄道 300 km 以上～500 km 未満	174,000 円
鉄道 500 km 以上～1,000 km 未満	231,000 円
鉄道 1,000 km 以上～1,500 km 未満	242,000 円
鉄道 1,500 km 以上～2,000 km 未満	259,000 円
鉄道 2,000 km 以上	301,000 円

(外国旅費)

移転距離	支給額
100 km 未満	111,000 円
100 km 以上～500 km 未満	148,000 円
500 km 以上～1,000 km 未満	211,000 円
1,000 km 以上～1,500 km 未満	265,000 円
1,500 km 以上～2,000 km 未満	334,000 円
2,000 km 以上～5,000 km 未満	410,000 円
5,000 km 以上～10,000 km 未満	452,000 円
10,000 km 以上～15,000 km 未満	493,000 円
15,000 km 以上～20,000 km 未満	534,000 円
20,000 km 以上	577,000 円

備考

外国から 2 人以上の扶養親族を随伴する場合には、1 人を超える者ごとに定額に 100 分の 15 に相当する額を加算した額とする。

## 着後手当

支給額	30,000 円
-----	----------

## 扶養親族移転料

(国内旅費)

区 分	12 歳以上	12 歳未満
鉄道賃、船賃及び車賃	全額	2 分の 1
航空賃	全額	全額
日当、宿泊料及び食卓料	3 分の 2	3 分の 1
着後手当	3 分の 2	3 分の 1

(外国旅費)

区 分	12 歳以上	12 歳未満
鉄道賃、船賃及び車賃	全額	全額
航空賃	全額	全額
日当、宿泊料及び食卓料	3 分の 2	3 分の 1
着後手当	3 分の 2	3 分の 1

備考

教職員の旅費額を基礎として支給する。ただし、鉄道賃、船賃及び車賃並びに航空賃で、通常必要としないものは支給しない。

## 別表 7

## (外国移転料の水路加算)

地域	利用する港	割合
北アメリカ諸国の東海岸	モントリオール、トロント、シカゴ、ニューヨーク、ボルチモア、ニューオリンズ及びヒューストン	100分の30
北アメリカ諸国の西海岸	バンクーバー、シアトル、ポートランド、サンフランシスコ、ロサンゼルス及びホノルル	100分の45
メキシコ及び中央アメリカ諸国	アカプルコ、サンホセ、ラ・リベルタッド、アマパラ、コリント、プンタレナス及びコロン	100分の20
カリブ海諸国	ハバナ、ポルトープランス及びサントドミンゴ	100分の45
南アメリカ諸国	ラ・ゲイラ、ベレン、マナウス、レシフェ、リオデジャネイロ、サントス、リオ・グランデ、モンテビデオ、ブエノスアイレス、バルパライソ、マタラニ、カリヤオ、ガヤキル、ヴェナベンツラ、アスンシオン及びエンカルナシオン	100分の45
西アフリカ諸国	ダカール、モンロビア、アビジャン、テマ、ラゴス、ドアラ、リーブルビル及びマタディ	100分の20

## (外国移転料の陸路加算)

陸路の距離	割合
100 km以上～300 km未満	100分の15
300 km以上～500 km未満	100分の20
500 km以上～1,000 km未満	100分の25
1,000 km以上～2,000 km未満	100分の30
2,000 km以上	100分の35

別表 8

(宇宙線研究所における国内旅費支給額)

区 分		日当 (1日について)	宿泊料 (1夜について)
乗鞍観測所	山頂宿泊施設利用	2,300 円	1,500 円
	上記以外	2,300 円	7,800 円
神岡宇宙素粒子研究施設	宿泊施設利用	2,300 円	3,000 円
明野観測所	宿泊施設利用	2,300 円	1,000 円
柏キャンパス	宿泊施設利用	2,300 円	3,000 円
高エネルギー加速器研究機構	宿泊施設利用	2,300 円	2,500 円
J-PARC(大強度陽子加速器施設)	宿泊施設利用	2,300 円	4,000 円

備考

近距離旅費の範囲で上記宿泊施設を利用した場合に支給する宿泊料についても適用する。ただし、乗鞍観測所山頂宿泊施設については近距離旅費の範囲で利用する者を除く。

(海洋研究所における旅費支給額)

区 分			日当 (1日について)	宿泊料 (1夜について)	食卓料 (1夜について)	
中野地区	共同利用	研究集会出席	1,500 円	7,500 円	—	
		外来研究員	来訪及び帰着時	1,500 円	7,500 円	—
			滞在時	1,000 円	6,000 円	—
研究船乗船等	共同利用	研究航海打合せ	1,500 円	7,500 円	—	
		乗船前後 ※1	1,500 円	7,500 円	—	
		淡青丸・白鳳丸乗船	支給せず	—	※2	
	共同利用以外	乗船前後	別表3の定額		—	
		淡青丸・白鳳丸乗船	国内航路	1,500 円	—	※2
			外国航路	2,000 円	—	
その他船舶による乗船	国内航路	1,500 円	—	1,800 円		
	外国航路	2,000 円	—	2,000 円		
国際沿岸海洋研究センター	共同利用	研究宿泊棟利用	来訪及び帰着時	1,500 円	5,000 円	—
			滞在時	1,000 円	3,000 円	—
		上記以外	来訪及び帰着時	1,500 円	7,500 円	—
			滞在時	1,000 円	6,000 円	—
	共同利用以外	研究宿泊棟利用	来訪及び帰着時	1,500 円	5,000 円	—
			滞在時	1,000 円	3,000 円	—
上記以外	来訪及び帰着時	別表3の定額		—		
滞 在 時			別表3の定額		—	
			別表3の定額		—	
その他	その他機関の宿泊施設利用		別表3の定額	5,000 円	—	

備考

- ※1 東京港にて乗下船する東京都内在勤の研究者に対しては、乗船前後に要する旅費を支給しない。
- ※2 乗船中の食事代等は、(独)海洋研究開発機構が契約した業者に直接支払うため、食卓料を支給しない。

平成 25 年選挙管理委員会候補

委員長	地球生命科学	砂村 倫成（留任）	東京大学
委員	宇宙惑星科学	行松 彰	国立極地研究所
委員	大気水圏科学	川村賢二	国立極地研究所
委員	地球人間圏科学	坪本裕之（留任）	首都大学東京
委員	固体地球科学	篠原雅尚（留任）	東京大学地震研究所
委員	固体地球科学	浜田盛久	海洋研究開発機構

代議員およびセクションプレジデント選挙日程案

月	日	曜日	進行	作業	メールニュース関連
7月	30日			理事会	
8月	2日	金		代議員選挙公示	・メールニュース原稿締切
	7日	水			・メールニュース8月号「代議員選挙公示のご案内」
	9日	金			
	12日	月		候補者受付用フォーム設定(事務局)	
	13日	火		代議員立候補受付開始	
	29日	木			・メールニュース臨時号「立候補のお願い」原稿締切
	30日	金		代議員選挙システム検証サイトOPEN	・メールニュース臨時号「立候補のお願い」発信
9月	1日	日			・メールニュース9月号「候補者受付締切、投票方法」
	9日	月		検証完了、修正点反映・本サイト設定完了	
	11日	水			
	12日	木		代議員立候補受付締切	
	17-24日			候補者データ確認、リスト作成	
	24日	火		◆選挙管理委員会	
	26日	木		代議員選挙投票開始	
	27日	金			・メールニュース臨時号「投票のお願い」
	8日	火			・メールニュース10月号「投票のお願い」
	17日	木			・メールニュース臨時号「投票のお願い」
	24日	木			・メールニュース臨時号「投票のお願い」【最終】
	25日	金		代議員選挙投票締切	
	26日	土		開票結果確認(選挙管理委員会)	
	28日	月		◆選挙管理委員会	
	31日	木		理事会へ結果報告(委員長) 結果公開用HP準備(事務局)	
11月	1日	金		代議員選挙開票結果公開 セクションプレジデント選挙公示	・メールニュース臨時号 「開票結果、プレジデント選挙公示」 ・当選者へのメール(事務局)
	5日	火		セクションプレジデント選挙候補者受付開始	
	7日	木		プレジデント選挙システム検証サイトOPEN	・メールニュース11月号 「セクションプレジデント選挙について」
	12日	火			
	14日	木		検証完了、修正点反映・本サイト設定完了	
	15日	金		セクションプレジデント選挙候補者受付締切	
	18日	月		◆選挙管理委員会	
	18-22日			候補者データ確認、リスト作成	
	25日	月		セクションプレジデント選挙投票開始	
12月	9日	月			・メールニュース12月号「投票のお願い」
	16日	月		開票結果確認(選挙管理委員会)	
	17日	火		◆選挙管理委員会	
	18日	水		理事会へ結果報告(委員長) 結果公開用HP準備(事務局)	
	20日	金		セクションプレジデント選挙開票結果公開	・メールニュース臨時号 「セクションプレジデント選挙開票結果」 ・当選者へのメール(事務局)

地球惑星科学連合 御中

国際地理オリンピック京都大会実行委員会委員長  
井田仁康

## 連合への支援希望資金金額とその根拠

連合への支援希望資金金額とその根拠を以下のようにまとめさせていただきました。よろしくお願ひします。

### 1. 連合への支援希望資金金額

500,000円をお願ひします。

### 2. 根拠

国際地理オリンピックは2013年7月30日より8月5日まで実施されます。大会経費は30,000,000円を予定しており、予算の半額を文科省（JST）からの支援でまかないます。しかし、以下の理由から当初の収入を得ることが難しくなりました。当初立てていた予算では、参加費を1人5万円としており、1チームあたり30万円（選手4人、リーダー2人）を予定しており昨年のケルン大会に提示しました。そうしたところ、当時1ユーロ100円を切るぐらいの円高でしたので、世界各国から高すぎるとの批判があり、1人3万円にまで下げました（ユーロになおすと昨年のケルン大会なみになります）。そのため、多くの支援金が必要になり予算を組み直しました。

それに加え、最後までエントリーしていた2ヶ国が国の事情で急遽参加できなくなり、次回以降の参加をめざしオブザーバーでくる国も最後までエントリーしたにもかかわらず3人がくることができず、減収となりました。さらにビザをとるために必要な書類を急遽送付しなければならず、1件あたり6千円ほどの輸送料がかかり、これが何カ国もでてきました。こうした急遽生じた減収や出費がでてしまったため、資金が不足しています。そのため、共催団体の一つである地球惑星科学連合に、急な出資をお願ひすることにしました。共催の日本地理学会には、すでに150万円の出資をお願ひし、関係の地理学会にもお願ひしているところです。また、国際地理オリンピックは、国際地理学（IGU）大会と関連させているので、IGU京都大会本部からも100万を出資していただきました。地球惑星科学連合からの支援金は経費を維持するために必要不可欠なものとなります。

申請が間際となり申し訳ないのですが、どうぞよろしくお願ひします。

平成25年度国際地理オリンピック京都大会当初予算  
 コンテスト名称:国際地理オリンピック

区分	費目	総額(円)
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	①会場・宿泊関係	13,000,000
	宿泊費(3000円×300人×6泊)	5,400,000
	朝食(1000円×300人×6回)	1,800,000
	夕食(1,500円×300人×5回)	2,250,000
	夕食(1,500円×300人×6回)	2,700,000
	施設間のシャトルバス	300,000
	ティータイムの菓子類	50,000
	開会式およびファイナルパーティ食費	300,000
	会場使用料(50,000円×4日)	200,000
	②筆記・マルチメディア	1,000,000
	③ファイナルワーク	1,920,000
問題作成費(会議旅費・印刷費など)	1,000,000	
問題作成費(会議旅費、下見、印刷費など)	500,000	
バス借上げ(100,000円×7台)	700,000	
④エクスカーション	3,650,000	
ファイナルワークデイベック(3000円×240人)	720,000	
バス借り上げ	1,400,000	
(100,000円×7台×2回)	1,400,000	
入園料・鉄道利用料等	1,800,000	
(3,000円×300人×2回)	1,800,000	
半日コースお茶代	450,000	
(1,500円×300人)	450,000	
⑤その他	9,678,000	
空港・表彰式会場送迎バス	800,000	
(100,000円×4台×2	800,000	
開会式イベント謝金	50,000	
(会場費、飲み物代)	50,000	
採点時会議費	200,000	
(会場費、飲み物代)	200,000	
スタップシャツ制作費	300,000	
(3,000円×240人)	300,000	
表彰・記念品代	720,000	
(3,000円×240人)	720,000	
ハンフ、ポスターなど広告費	1,000,000	
(5,000円×50人×7日)	1,000,000	
有償ボランティア謝金	1,750,000	
(5,000円×50人×7日)	1,750,000	
その他人件費(通訳1、医師1、看護士1)(3名で100,000円×	700,000	
3名)	700,000	
保険代	300,000	
(1,000円×300人)	300,000	
大会記録制作費	300,000	
大会記録制作費	468,000	
ミネラルウォーター(300人×2本×6日×130円)	90,000	
シャングー、石けん、リンスなど	90,000	
雑費(郵送料、機器、文具、地図、事務経費など)	1,000,000	
交通費(役員などの京都までの交通費・本部からの招	2,000,000	
待者、オーストラリア、オランダ、台湾各1名)	2,000,000	
合計	29,248,000	

区分	費目	決算額(円)
収入	参加費	10,800,000
	(50,000円×(4選手+2引率)×35国)	14,445,000
	独立行政法人 科学技術振興機構	1,383,000
	日本地理学会	420,000
	その他の地理関係学会	1,000,000
	企業などの寄附	200,000
	日本地図センター	1,000,000
IGU京都大会本部	200,000	
合計	29,248,000	

平成25年度国際地理オリンピック京都大会予算  
 コンテナー名称:国際地理オリンピック

区分	費目	総額(円)	JST支援金(円)
支出		15,000,000	12,800,000
①会場・宿泊関係	17,400,000 宿泊費(250人×6泊)(2食付) 昼食代(270人×1000円×5日) ティータイムの菓子類 開会式およびファイナルパーティー食費 会場使用料(100,000円×3日) 問題作成費(会議旅費・印刷費など) タブレット賃貸料 問題作成費(会議旅費、下見、印刷費など) 下見の本部からの出題委員宿泊費(2人×6泊) 地図代 バス借り上げ(100,000円×7台) バス借り上げ 入園料・鉄道利用料等 フリータイム支給額 文化祭諸費用(会場費、材料費) ポストエクスカーション下見 会場・表彰式会場送迎バス 開会式イベント謝金 採点時会議費(会場費、飲み物代) 参加賞グッズ(クリップボード、ポロシャツ)(スタッフ込 み)(7500円×270名) 表彰代(賞状) ハンフ、ポスターなどプログラム・広告費 その他人件費(看護士1)(1名で7日間) 保険代 大会記録制作費 ミネラルウォーター(300人×2本×6日×130円) 雑費(郵送費、機器、文具、地図、ボランティア交通費、事務経費) 交通費(役員などの京都までの交通費・本部からの招 待者、オーストラリア、オランダ、台湾各1名)	1,350,000 50,000 700,000 300,000 700,000 160,000 120,000 100,000 700,000 700,000 360,000 270,000 300,000 200,000 350,000 200,000 200,000 2,025,000 300,000 800,000 200,000 270,000 500,000 468,000 1,300,000 1,480,000	500,000 300,000
②筆記・マルチメディア	860,000		300,000
③フリーボードワーク	1,820,000		
④エクスカーション ・フリータイム	1,830,000		500,000
⑤その他	8,313,000		200,000
合計		30,003,000	15,000,000

区分	費目	予算額(円)
収入		6,300,000
	参加費(30,000円×(4選手+2引率)×34国)(オプザーバー6人×30,000円) 文部科学省・独立法人科学技術振興機構 日本地理学会 その他の地理関係学会 東京倶楽部 企業など寄附(広告) IGLU京都大会本部 合計	15,000,000 1,500,000 1,503,000 1,000,000 2,200,000 1,500,000 29,003,000

Schedule of iGeo2013 Kyoto

ver. 14/3/2013

Day Date/Time (JST)	Tuesday July 30, 2013	Wednesday July 31, 2013	Thursday Aug 1, 2013	Friday Aug 2, 2013	Saturday Aug 3, 2013	Sunday Aug 4, 2013	Monday Aug 5, 2013
5:00							
6:00							
7:00		Breakfast	Breakfast	Breakfast	Breakfast	Breakfast	Breakfast
8:00		WRT >> IB Members Translate Key Terms		FWT 1>> IB Members Translate Key Terms		FWT 2>> IB Members Translate Key Terms	
9:00	TEAMS		[Transfer] to fieldwork site			FREE TIME: refreshing	MMQ>>IB Members Translate Key Terms
10:00	ARRIVE	WRT >>Students (2.5h-3h)	WRT >>Jury reviews marking scheme	Fieldwork >> Students Test-2 Decision making at Hotel (2.5-3h)	WRT >>Jury marks as needed	MMQ >>Students	MMQ >>Jury reviews mark scheme. FWT/WRT Juries mark as needed
11:00	RESISTRATION		Fieldwork >> Students Test-1 at fieldwork site (3-4h)	FWT Jury reviews Test 1 mark scheme >> WRT Jury marks as needed			
12:00		Lunch	Lunch at the site or box-lunch	FREE Time or (discussion about Geographical Education)	Lunch	Lunch	
13:00					FREE TIME: refreshing		Optional tour depart
14:00		FREE TIME					till Aug 7 Mt. Fuji and Tokyo
15:00			[Transfer] to Hotel		WRT and FWT >>Juries mark as needed	FREE TIME: Shopping, visit Museums	MMQ Jury marks. >>FWT/WRT Juries mark as needed
16:00				Preparing for Cultural Function			TEAMS DEPART
17:00	IB Meeting	Mini excursion around the Hotel	FREE TIME: refreshing				
18:00	Dinner		Dinner	Dinner		FREE TIME: refreshing	
19:00		Dinner					
20:00	Opening Ceremony	Fieldwork >> Students Briefing1 Lecture and Reading source booklet	WRT >> Jury marks as needed	Preparing for Cultural Function	WRT and FWT >>Juries mark as needed	Poster Presentation	Cultural Function and Dinner
21:00							WRT and FWT >>Juries mark as needed
							>> All leaders: Evaluation Meeting

## 日本版 NIH への懸念

政府の日本再興戦略の一環として医療・創薬分野のレベルを引き上げるために米国を模倣して日本版 NIH を立ち上げると聞いている。これは、現在米国と較べて極めて少ない生命科学分野への投資を米国の 10%まで引き上げるという予算措置を含んでいる。日本学術会議会長の談話中にもあるが、ここで問題となる危険性の一つとしてあるのは、科学研究費補助金（いわゆる科研費）をこの資金源に組み入れようという動きがある事である。

もともとバイオテクノロジーに関連して活動してきた省庁は厚生労働省、文部科学省、および経済産業省の 3 つであるが、これらの省庁縦割りの弊害を廃し内閣府に司令塔を一元化するという議論の中で、科研費として配分されている資金も、一元化される予算の中に入れてしまおうという議論である。

科研費は読んで字のごとく科学研究に対する補助金であり、科学研究は全ての分野で、すべからく基礎研究を土台として、成果を出しうるものである。バイオテクノロジーとてその例外ではないはずである。しかるに、現在議論されているように科研費として競争的に分配されている資金を日本版 NIH を推進する予算の中に組み入れてしまうと、政府の指導に沿った研究、成果の約束される研究のみに研究費が費やされ、その他の基礎研究が崩壊してしまう怖れが無いとは言えない。米国においては日本の 2 倍の研究者数に対して生命科学にかかる予算が日本で想定しているものの 10 倍もある事もあり、余裕を持って基礎研究に予算を配分しており、バランスのとれた施策がなされていると聞いている。

日本において米国の NIH と同様の制度を立ち上げるときに、米国と日本の予算事情の違いを考慮せず、少ない予算で米国に対抗しうる成果を出すだけの為に科研費の制度を崩し、成果の見える研究のみに集中して資金を配分することのない事を、生命科学系の研究者と同じ科学者倫理に立脚する地球惑星科学者の代表として祈るものである。米国の NIH と同様の施策を行おうとするならば、まずその予算規模を見直すと同時に、科研費の制度を維持してその中で人材育成を含めた基礎研究を大切にする姿勢が、最終的には国民の利益に叶うものと信ずる。

平成 25 年 7 月 16 日  
日本地球惑星科学連合会長  
津田 敏隆

## 日本版 NIH の論点 by 中村

日本版 NIH について google で少しいろいろな記事など覗いて見ました

もともとバイオテクノロジーに関与してきた省庁は3つ

厚生労働省 → バイオテクノロジーに冷淡であった

文部科学省 → バイオテクノロジーを牽引、進行調整費として予算を掌握

経済産業省 → 文科省と同様バイオテクノロジーに積極的

日本版 NIH を創設するに当たって予算の再分配をしようとして各省庁が綱引き。どの省庁にも関係の無い内閣府（しかしきっと経産主導）が司令塔になる案が有力。

このような予算再分配の流れの中で科研費を NIH の統合的予算の中に組み入れようという動きがある。この時に問題となるのは、研究成果が出せる見込みのあるものだけに科研費が分配されるのではないかという懸念。基礎研究に十分な予算が配分されることが、健全な科学研究には必要である(※)

### 参考

米国 NIH の予算：日本 NIH の予算 = 10 : 1

米国研究者数：日本研究者数 = 2 : 1

### 現状

米国の科学技術予算：日本の科学技術予算 = 5 : 1

その中で

米国の健康に関する予算：日本のそれ = 上記の 1 / 4 : 上記の 1 / 20

つまり

米国予算：日本予算 = 25 : 1

これを日本版 NIH では 10 : 1 まで持ち上げようとしている

(※への懸念) しかし総額として日本の 10 倍の予算を持つ米国 NIH では基礎研究にも予算が付いているのに対して、日本ではその余裕はないのではないか？

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
平成 25 年度第 2 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 25 年 6 月 22 日 (月)  
午後 2 時 00 分から午後 6 時 30 分
2. 開催場所 東京大学理学部 1 号館 8 階 843 号室  
(東京都文京区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名  
出席理事 16 名 (定足数 11 名 会議成立)  
出席監事 1 名  
オブザーバー 8 名
4. 議長 理事 津田 敏隆
5. 出席役員  
理事 津田 敏隆  
理事 川幡 穂高  
理事 木村 学  
理事 中村 正人  
理事 ウォリス サイモン  
理事 小口 高  
理事 奥村 晃史  
理事 北 和之  
理事 古村 孝志  
理事 杉田 倫明  
理事 瀧上 豊  
理事 田近 英一  
理事 畠山 正恒  
理事 濱野 洋三  
理事 松本 淳  
理事 渡邊 誠一郎  
監事 松浦 充宏
6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント 大村善治  
大気水圏科学セクションプレジデント 中島映至  
地球生命科学セクションプレジデント 北里洋  
固体地球科学セクションプレジデント 大谷栄治  
地球生命科学セクション幹事 生形貴男  
大会運営委員会プログラム局局长 河宮三知生  
大会運営委員会プログラム局副局長 目代邦康  
坂野井和代 (Skype 出席)

午後 2 時 00 分、理事の定数に足る出席があったので、会長津田敏隆は議長席に着き、開会を宣言した。

## 7. 報告事項

### (1) 2013 年大会報告

津田会長より 2013 年連合大会について報告があった。セッション数は 180 であり、うち国際セッションは 24%であった。投稿数は約 4,000。参加者数は 6800 名超であった。(資料 P.1-3、5-10)

谷上事務局長より、連合大会の会計について報告があった。収入に関しては、予算額に比べ 280~300 万円の増加となった。これは主に出展団体の増加によるものである。支出に関してはほぼ予算通りである。(資料 P.4)

浜野理事より、JpGU2013 年来場者アンケートの集計結果 (別冊資料) について報告があった。今後の検討課題として、ポスター三分概要発表に関して賛否両論見られること、口頭講演会場の広さに関して不満が挙げられていることが説明された。またアンケートの集計結果を踏まえ、意見が交換された。その結果、会場内の撮影禁止に関して周知を徹底すること、学生賞の審査基準に関して統一した基準を検討すること、予稿集やアーカイブ検索について、大会ホームページをより充実させることが確認された。

### (2) 委員会報告

総務委員会報告 (古村理事) 資料 P.12

古村理事より、寄付金受け入れ体制の検討に関する報告があった。『減額控除対象の公益法人』に認定されることで寄付金を促進する効果が期待されるが、現在のところ当連合はその要件を満たしていない。要件のうち一は 3,000 円以上の寄付金を支出した者が、五年継続して年平均 100 人以上いることであり、寄付金を募るためまずは寄付金の受け入れ規定を整える必要がある。

男女共同参画委員会報告 (坂野井和代担当) 資料 P.13-15

坂野井担当より、男女共同参画委員会報告があった。大会中にイクメンシンポジウムを開催し、のべ50名以上が参加した。また2013年度の活動方針を策定し、5月21日の委員会にて承認された。また平成25年度女子中高生夏の学校にポスター参加することを決定した。

## 8. 審議事項

### 第1号議案 会員（正会員）入会承認の件（古村理事）資料 P.16-26

定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者を承認した。なお、資料中正会員366番はテスト入力によるもののため、次月に削除処理を行う。

### 第2号議案 2014年連合大会開催概要及び方針の確認の件

（目代大会運営委員会プログラム局副局长）資料 P.27-47

目代大会運営委員会プログラム局副局长より、2014年連合大会の概要、スケジュール、及び会場が説明され、これを承認した。プログラム委員会副委員長を地球生命圏から選出することを承認した。三分概要説明を次年も継続して開催することを承認した。コンビーナガイドラインおよび投稿規程を承認した。

高校生セッションに関して、大会の開催時期が早まること、例年と異なり連休ではない祝日に高校生セッションを開催することを鑑み、対策を検討することを決定した。（資料 P.11）また、合同大会より数えて25回目となること、連合大会として10回目となることを記念し、企画を検討することを決定した。

### 第3号議案 連合ジャーナル関連の件（川幡理事）資料 P.48-60

ジャーナル企画経営委員会、ジャーナル編集委員会を設置することを承認した。ジャーナル企画経営委員として連合より田近理事を選出した。また現在の連合事務局とは別に、事務員と編集専門員を雇用しジャーナル出版部を設置することを承認した。科学研究費補助金（研究成果公開促進費）からのジャーナル出版部の人件費が支出できるかどうか、日本学術振興会に問い合わせることとなった（翌日、問い合わせ、支出できることをメールにて確認した）。

招待された論文やレビュー論文、大会中に優秀と認められた発表に基づく論文等、特別なものを除き、一般の論文の投稿料は、会員による論文では80%を連合が負担することを承認した。なお、非会員については、連合は負担しないこととなった。

本年は質の高い論文を集めるため、論文執筆の依頼を出すことをセクションプレジデントに要請することを承認した。具体的には、本年度開催予定の国際シンポジウムなどで、日本地球惑星科学連合の趣旨にあうもの、そして、招聘の方には原稿を書いてもらうことなどを条件に、予算を支出することで合意された。来年の大会では、これを発展させ、特別

国際セッションを設け、そこでの発表者に論文の執筆を依頼することを決定した。

第4号議案 連合大会の投稿システムの更新について (小口理事) 別冊資料  
小口理事より、投稿システムに関してのアンケート結果の報告があった。またそれに基づき、システム改善や、制作運用会社の変更を含め検討していることが報告された。システム改善に際しては、現状四コマで固定になっているコマ数を可変にすること、ギリシャ文字、上付き、数式等が入力できるようにすることが要望として挙げられた。これらの可否も含めて引き続きシステム改善に関して検討してゆくとした。

第5号議案 選挙管理委員会の設置の件 (古村理事) 資料 P.61  
古村理事より、選挙管理委員会を設置することが提案され、これを承認した。

第6号議案 『平成25年度女子中高生夏の学校』協賛の件 (古村理事) 別冊資料  
『平成25年度女子中高生夏の学校』を協賛することを満場一致で承認した。

第7号議案 AOGS2014年札幌大会対応(プログラム関連)の件 (津田会長) P.62-65  
AOGS2014年札幌大会への対応について、津田会長から報告があった。連合から、プログラム委員会を選出済みであり、AOGSの理事会で審議中である。  
また連合大会の国際セッションの充実化を含め、今後も当連合がAOGSと共存し共に発展できるように、協調していくことを確認した。

第8号議案 日本学術会議「理学・工学分野における科学・夢ロードマップ」改定の件  
(津田会長) 資料 P.66-68  
「理学・工学分野における科学・夢ロードマップ」を改訂することを承認した。セッションごとに、現在のものを元に改訂をすることとした。

第9号議案 日本学術会議「東日本大震災に係る学術調査」(平成25年3月28日)提言に  
対する対応の件 (津田会長、松本理事) 資料 P.69-73  
日本学術会議「東日本大震災に係る学術調査」の提言に対し、東日本大震災以前より災害対策委員会を中心に行ってきた実績を踏まえ、より強固な体制を整える必要があることを確認した。

第10号議案 大型プロジェクトに対する提言の件 (津田会長)  
日本版NIHに対して当連合として声明を発表することを承認した。詳細に関しては再度検討することとなった。(資料 P.74-80)  
宇宙戦略に関して、中島セクションプレジデントより説明があった。それに基づき、今後

の地球観測衛星の開発、運用をより発展させてゆく必要があることを確認した。

第 11 号議案 連合での表彰制度の統一指針、フェローについて (中村理事) 資料 P.83  
フェロー制度の設立へ向け、フェロー制度準備委員会の設置を承認した。委員は中村理事、  
成瀬理事、ウォリス理事、古村理事、に加え、セクション毎にそれぞれ一名を選出するこ  
ととした。

第 12 号議案 ユニオンサイエンスボードについて (津田会長) 資料 P.84  
津田会長よりユニオンサイエンスボードの現状についての問題提起があった。連合が発展  
してきたことにより、設置当初とは状況が変化し、ユニオンサイエンスボードの連合にお  
ける役割が低下してきた。そのため、今後ユニオンサイエンスボードを解消することも視  
野に入れ検討してゆくことを決定した。

第 13 号議案 今後の国際戦略の件 (津田会長)  
木村理事より、他の国際的学会連合による新しい学術雑誌の出版の予定等、国際戦略の動  
きがあることが報告された。これに対して、セクション間が協力して対応してゆく必要が  
あることを確認した。  
松本理事より、アジアに向けた国際戦略の必要性が説明され、これを検討してゆくことを  
確認した。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後 6 時 15 分)  
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席議事は次に記名・  
押印する。(捺印欄配布時省略)

平成 25 年 6 月 22 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 2 回理事会

出席理事	津田	敏隆	印
出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	中村	正人	印

出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	小口	高	印
出席理事	奥村	晃史	印
出席理事	北	和之	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	杉田	倫明	印
出席理事	瀧上	豊	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	畠山	正恒	印
出席理事	濱野	洋三	印
出席理事	松本	淳	印
出席理事	渡邊	誠一郎	印

# 男女共同参画委員会報告

2013年7月30日 小口千明

## 1. 「女子中高生夏の学校 2013

～科学・技術者のたまごたちへ～への参加

日時:2013年8月8日～10日(土)

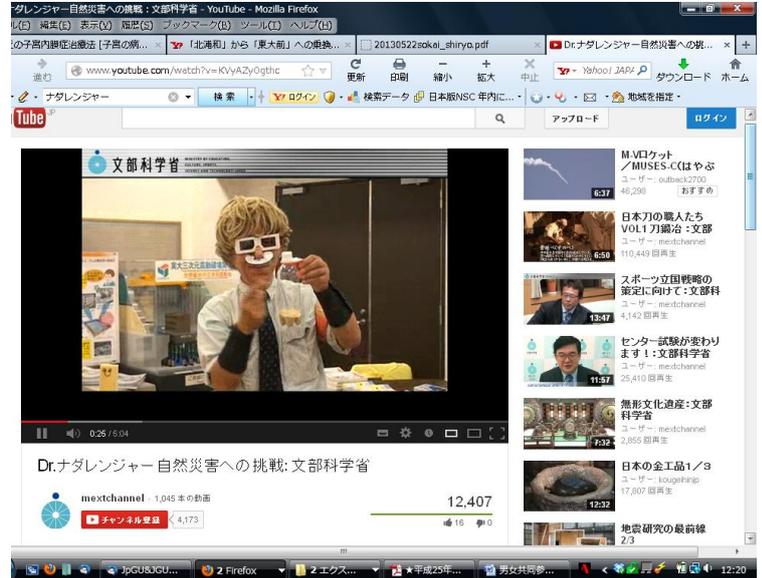
(うち、9日(金)のポスター発表に参加)

会場:国立女性教育会館

ポスタータイトル:地球惑星科学へようこそ

～Dr.ナダレンジャーの自然災害の  
サイエンスショー展示～

- ※ 「協賛団体」としてのお手続きをありがとうございます。
- ※ 可能でしたらグッズ提供のご協力をお願いします。(例:クリアファイル、ポストカード、マグネット、メガネ拭き、ロールモデル冊子 etc)
- ※ Dr. ナダレンジャーこと納口恭明さん(防災科研)には旅費をお支払いする予定。
- ※ 傘下学協会からの参加は、地球電磁気・地球惑星圏学会(本年度の事務局)、日本地形学連合。
- ※ 来年度は日本海洋学会が参加の意向を示している。うまくタイアップして省力化を諮りたい。



## 2. 第3回大規模アンケート(2012年11月実施)報告書の準備状況(男女共同参画学協会連絡会関連)

- ・ 解析は終了し、現在、報告書完成にむけて最終調整中。
- ・ 報告書は8月中に完成予定。印刷後、10月7日に実施される連絡会シンポジウムで配付予定。
- ・ 自学協会に限定した解析(生データ利用)については、ガイドライン遵守のうえ、各学協会に利用が認められる。→ 連合傘下でアンケートに協力した学協会に、連絡する必要あり。
- ・ 裏面に添付した申込書を、運営委員会事務局(danjo\_office11@djrenrakukai.org)まで送付、連絡会の承認を経て利用が許可される。
- ・ 今後発刊予定の報告書に記載のデータを利用する場合には、報告書をきちんと引用すること。

# 男女共同参画アンケート結果データベース利用申請書

平成 年 月 日

男女共同参画学協会連絡会御中

男女共同参画学協会連絡会による第三回大規模アンケート調査について、下記のとおりデータベースを利用いたしたいと存じます。

## 記

- 1) 利用学協会：
- 2) 検討メンバー：  
代表、データ管理責任者  
氏名、学会名、メールアドレス、所属  
データ利用メンバー  
氏名、学会名、メールアドレス、所属  
氏名、学会名、メールアドレス、所属
- 3) 利用するデータベースの範囲：
- 4) 利用目的：
- 5) 公表の方法と範囲：  
方法：  
範囲：
- 7) 著作権に関する取扱：
- 8) 個人情報の取扱いなど：管理者および利用者は「男女共同参画学協会連絡会・大規模アンケートデータの利用と管理に関するガイドライン（連絡会に所属する各学協会が所属学会に関するデータを利用する場合）」および男女共同参画学協会連絡会個人情報保護方針、ならびに上記学協会の個人情報保護に関する指針を遵守する。

以上